

人口変動要因等に関するアンケート調査
報告書

令和3年（2021年）3月

港区政策創造研究所
（企画経営部）

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

御 挨拶

このたび、港区政策創造研究所が令和2年7月に実施した「人口変動要因等に関するアンケート調査」の報告書がまとまりました。

港区政策創造研究所では、令和元年度に「港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査」を実施し、港区を暮らしの場としてより魅力あるまちにするための課題を把握しました。この結果をもとに、今回のアンケート調査は、他区と比較して港区にはどのような特性や、課題があるのかを明確にするため、港区、千代田区、中央区、世田谷区、品川区、渋谷区の住民合計2,100人を対象に実施しました。

区は、この調査結果を属性ごとに詳細に分析し、区の特徴を適確に捉え、新たに策定する「港区基本計画（令和3年度～令和8年度）」や各個別計画に反映させることで、より魅力的で暮らしやすいまちをめざし、区民の安全・安心の確保を最優先に様々な施策を展開してまいります。

区の人口は、近年、一貫して増加していたものの、令和2年5月から新型コロナウイルス感染症の影響によるものと思われる減少傾向が見られています。今後、人口動向をより一層注視するとともに、港区政策創造研究所の調査研究機能を最大限に活用して、先見性のある政策を創造し、新型コロナウイルス感染症の危機から区民の命と健康を守り続けることで、「誰もが住みやすく、地域に愛着と誇りを持てるまち・港区」の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

調査の実施にあたり、ご協力いただいた全ての皆様に心からお礼を申し上げます。

令和3年3月

港区長 武井 雅 昭

はじめに

港区政策創造研究所では、令和元年度に港区民のうち引越しをした方を対象として「港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査」を実施した。これにより、転出入とも若く世帯人数の少ない世帯が多いこと、転出者は区の住宅コストの高さや買い物環境への不満が大きい一方で子育て環境への不満は小さいこと、転入者は通勤利便性やまちのイメージを評価して港区を選択していることなどが明らかになった。

こうした調査結果を踏まえ、区的生活環境の魅力と課題をより詳細に把握するとともに他地域と比較した特性や競争力を明確にするため、このたび区民及び他地域の住民を対象とした人口動向に関する調査を実施した。本調査においては、区民による区的生活環境全般に関する評価を把握するとともに、令和元年度調査において区の課題と魅力として明らかになった買い物環境と子育て環境について、より具体的な区民の評価を把握することとした。また、転出入先として競合可能性の高い地域との比較分析により港区の競争力を明確にし、転出入動向の見通しの検討材料を得るため、他地域については、近接する都心2区と港区からの転出先数が多い上位3区を類似区と位置づけ、これらの区の住民を調査対象として比較分析を行った。

さらに、令和2年5月から区の人口は新型コロナウイルス感染症に起因すると思われる減少傾向が表れており、転出入動向としても昨年度までと異なる様相を呈していることから、居住地選択の際に重視する点の変化や、今後の生活の変化の可能性、行政サービスのオンライン化、キャッシュレス化へのニーズなど、影響の実態を把握した。

この調査結果の分析により、生活環境の課題である買い物環境への不満、嗜好品・耐久消費財の買い物を区外でしている割合、教育・子育て環境への評価や地域イメージへの評価、保育施設の充実度や景観・街並みの評価、定住意向が他地域と比較して高い水準にあること、新型コロナウイルス感染症の影響により買い物環境の重要度が高まっていることなどが明らかになった。また、これらの結果に基づく考察として、新型コロナウイルス感染症の影響による区民ニーズの変化にも配慮した生活環境の改善及び魅力の活用による区民生活の豊かさと定住性の向上に向けた政策課題を整理している。

新型コロナウイルス感染症の影響により、区民の生活や意識、ニーズは変化しており、こうした影響は短期的なものに留まらない可能性が高い。今後、区の職員はもちろん、企業、各種団体など、港区をより住みやすく魅力のある地域とすることに寄与する施策や事業に取り組んでいる人々は、これまでとは異なる工夫や配慮が求められることとなる。本調査の結果が、こうした人々の取組の一助となることを期待したい。

目 次

I	調査の目的と概要	
1	調査の目的	1
2	調査の概要	
	(1) 調査の名称	1
	(2) 調査の主体	1
	(3) 調査の対象及び回収数	1
	(4) 調査の方法	1
	(5) 調査票発送日、調査期限及び回答期間	2
	(6) ウェイトバック補正について	2
	(7) χ^2 検定	3
II	調査結果	
1	年齢（問1）	
	(1) 基本集計結果	4
2	性別（問2）	
	(1) 基本集計結果	5
3	職業（問3）	
	(1) 基本集計結果	5
	(2) クロス集計結果	6
4	家族構成（問4（1））	
	(1) 基本集計結果	7
	(2) クロス集計結果	8
5	婚姻状況（問4（2））	
	(1) 基本集計結果	8
	(2) クロス集計結果	9
6	既婚者の希望子ども数（問5（1））	
	(1) 基本集計結果	10
7	未婚者の結婚希望（問5（2））	
	(1) 基本集計結果	11
8	未婚者の希望する子ども数（問5（3））	
	(1) 基本集計結果	11
9	居住年数（問6）	
	(1) 基本集計結果	12
	(2) クロス集計結果	13
10	住宅の所有形態（問7）	
	(1) 基本集計結果	15

11	居住する区の満足な点（問8）	
	(1) 基本集計結果	16
	(2) クロス集計結果	17
12	居住する区の不満な点（問9）	
	(1) 基本集計結果	20
	(2) クロス集計結果	21
13	買い物環境への評価（問10（1））	
	(1) 基本集計結果	24
	(2) クロス集計結果	25
14	買い物環境の良い点（問10（2））	
	(1) 基本集計結果	26
	(2) クロス集計結果	27
15	買い物環境の最も良い点（問10（3））	
	(1) 基本集計結果	29
	(2) クロス集計結果	30
16	買い物環境の悪い点（問10（4））	
	(1) 基本集計結果	31
	(2) クロス集計結果	32
17	買い物環境の最も悪い点（問10（5））	
	(1) 基本集計結果	36
	(2) クロス集計結果	37
18	食料品・日用品をよく購入する店への所要時間（問11）	
	(1) 基本集計結果	39
	(2) クロス集計結果	40
19	食料品・日用品をよく購入する店の所在地（問12（1））	
	(1) 基本集計結果	42
	(2) クロス集計結果	42
20	嗜好品・耐久消費財をよく購入する店の所在地（問12（2））	
	(1) 基本集計結果	43
	(2) クロス集計結果	44
21	買い物利便性向上に有効なサービス（問13）	
	(1) 基本集計結果	45
	(2) クロス集計結果	46
22	子育て・教育環境への評価（問14（1））	
	(1) 基本集計結果	51
	(2) クロス集計結果	51
23	子育て・教育環境の魅力的な点（問14（2））	
	(1) 基本集計結果	54
	(2) クロス集計結果	56

24	子育て・教育環境の最も魅力的な点（問14（3））	
	（1）基本集計結果	63
	（2）クロス集計結果	65
25	地域イメージへの評価（問15（1））	
	（1）基本集計結果	72
	（2）クロス集計結果	73
26	地域イメージの魅力的な点（問15（2））	
	（1）基本集計結果	74
	（2）クロス集計結果	75
27	地域イメージの最も魅力的な点（問15（3））	
	（1）基本集計結果	81
	（2）クロス集計結果	82
28	転出の予定・希望（問16）	
	（1）基本集計結果	88
	（2）クロス集計結果	89
29	転出の原因（問17）	
	（1）基本集計結果	94
	（2）クロス集計結果	95
30	転出のきっかけ（問18）	
	（1）基本集計結果	99
	（2）クロス集計結果	100
31	転出のきっかけ（最重要）（問19）	
	（1）基本集計結果	101
	（2）クロス集計結果	102
32	転出先として想定する場所（問20）	
	（1）基本集計結果	106
33	引越し先として選定する理由（問21）	
	（1）基本集計結果	108
	（2）クロス集計結果	109
34	転出を希望しない理由（問22）	
	（1）基本集計結果	111
	（2）クロス集計結果	112
35	新型コロナウイルスで重要度が上がったもの（問23）	
	（1）基本集計結果	116
	（2）クロス集計結果	117
36	新型コロナウイルスで重要度が下がったもの（問24）	
	（1）基本集計結果	120
	（2）クロス集計結果	121

37	新型コロナウイルスによる今後の生活の変化（問25）	
	（1）基本集計結果	125
	（2）クロス集計結果	126
38	オンライン化を希望する行政手続（問26）	
	（1）基本集計結果	131
	（2）クロス集計結果	132
39	行政のオンライン化が必要ない理由（問27）	
	（1）基本集計結果	136
	（2）クロス集計結果	137
40	行政のオンライン化に対する不安・課題（問28）	
	（1）基本集計結果	138
	（2）クロス集計結果	139
41	キャッシュレス決済の必要性（問29）	
	（1）基本集計結果	141
	（2）クロス集計結果	141
42	よく利用する支払方法（問30）	
	（1）基本集計結果	144
	（2）クロス集計結果	145
Ⅲ	調査結果（自由回答）	
	148
Ⅳ	政策的提言～調査結果から見た港区の政策課題～	
	163
Ⅴ	資料	
	資料1 調査票	168
	資料2 港区政策創造研究所の概要	180

I 調査の目的と概要

1 調査の目的

令和元年度に実施した「港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査」により明らかとなった港区における生活環境の問題点や優位性、転出要因などの他地域比較等を行い、令和3年度からを計画期間とする港区基本計画の施策や事業に反映すべく調査を行う。

2 調査の概要

(1) 調査の名称

人口変動要因等に関するアンケート調査

(2) 調査の主体

調査の主体は、港区政策創造研究所であり、調査の設計は港区政策創造研究所において行った。

(3) 調査の対象及び回収数

他地域比較を重視し港区民に加えて、競合する他地域の住民を調査対象とする。

具体的な調査対象地域は、以下のとおり抽出する。

- ・地理的な近接性、地域特性の類似性の高い都心区（千代田区、中央区）
- ・令和元年度調査で把握した港区からの転出先地域の比率上位の区のうち都心区を除く上位3区（品川区、世田谷区、渋谷区）

上記の条件から抽出し、対象地域は以下の通りとした。

港区、千代田区、中央区、品川区、世田谷区、渋谷区

図表1-1 回収数及び回収率

種別	対象	回収数
全体	—	2,100件
港区	港区内在住者 18歳以上	600件
千代田区	千代田区内在住者 18歳以上	300件
中央区	中央区内在住者 18歳以上	300件
品川区	品川区内在住者 18歳以上	300件
世田谷区	世田谷区内在住者 18歳以上	300件
渋谷区	渋谷区内在住者 18歳以上	300件

(4) 調査の方法

リサーチ（市場調査）企業が保有する上記の区に在住のインターネットモニターを利用したインターネット調査による。

(5) 調査票発送日、調査期限及び回答期間

図表1-2 調査票発送日、調査期限及び回答期間

調査票発送日	調査期限（回答期限）	回答期間
令和2年6月29日（月）	令和2年7月8日（水）	10日間

(6) ウェイトバック集計について

本調査では、性年齢階級別回答比率を母集団における構成比に近づけ、全体の傾向に対して特定の性年齢階級の傾向が大きく反映されるのを防ぐことを目的として、ウェイトバック集計を行っている。具体的には、回答数の割合が母集団の割合と比べて少ない性年齢階級を補正により拡大し、回答数の割合が母集団の割合と比べて多い性年齢階級は補正により縮小した上で全体集計とした。また、6区全体での集計を行う場合は、港区の標本数が他区の倍となっていることから、港区の傾向が過度に大きく反映されないように他区と同一の数値となるよう補正を行っている。

図表1-3 標本と母集団の構成

【各区の標本数】

年代	港区		千代田区		中央区		品川区		世田谷区		渋谷区		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
18-29	12	41	27	28	16	20	24	23	23	25	22	23	284
30-39	61	73	33	40	35	36	30	29	24	27	31	31	450
40-49	75	85	37	27	35	40	30	30	29	32	31	33	484
50-59	60	69	30	29	25	31	23	22	25	26	23	28	391
60以上	68	56	33	16	30	32	39	50	38	51	35	43	491
合計	276	324	160	140	141	159	146	154	139	161	142	158	2,100

【各区における調査対象人口（母集団）】

年代	港区		千代田区		中央区		品川区		世田谷区		渋谷区		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
18-29	13,565	13,975	4,710	4,069	8,704	9,258	26,211	25,359	59,738	64,056	13,877	14,778	258,300
30-39	18,727	21,772	5,826	5,132	14,555	16,052	33,907	32,856	62,437	68,419	20,066	19,979	319,728
40-49	21,408	24,696	5,673	5,596	15,633	17,426	33,779	33,735	73,398	81,690	19,517	20,813	353,364
50-59	16,723	17,904	4,175	4,098	11,215	11,568	25,780	24,438	63,947	65,958	14,704	15,507	276,017
60以上	22,623	31,137	5,957	7,629	13,413	17,525	43,550	55,296	98,506	129,412	22,414	30,075	477,537
合計	93,046	109,484	26,341	26,524	63,520	71,829	163,227	171,684	358,026	409,535	90,578	101,152	1,684,946

出典：東京都の統計「住民基本台帳による東京都の世帯と人口（町丁別・年齢別）」（令和2年1月）

(7) χ^2 検定

χ^2 (カイ二乗) 検定とは、観測値と期待値のずれを測るための統計量である χ^2 値を用いて、クロス集計表における2つの変数が関連しているか否かを調べる検定方法のことである。本報告書では、 χ^2 検定の結果得られた検定統計量 p 値が0.05未満であれば、有意水準5%で統計学的に有意な差が認められ、2つの変数に関連があると判断する。

なお、本報告書では、原則として統計学的に有意差が認められた集計結果を掲載しているが、有意差が認められるとは言えない集計結果においても、【参考値】と表記して掲載している場合がある。

【例】

転出者の「引越し前住所の居住期間」と「年齢層」について以下のようにクロス集計を行った。

- ・ 2年未満：「34歳以下」56.5%、「35～49歳」37.0%、「50～64歳」4.3%、「65歳以上」2.2%
- ・ 2～5年：「34歳以下」55.0%、「35～49歳」31.3%、「50～64歳」8.8%、「65歳以上」5.0%
- ・ 5～10年：「34歳以下」31.7%、「35～49歳」35.0%、「50～64歳」26.7%、「65歳以上」6.7%
- ・ 10年以上：「34歳以下」15.0%、「35～49歳」25.0%、「50～64歳」28.3%、「65歳以上」31.7%

このクロス集計結果について χ^2 検定を行うと、 χ^2 値は64.0、自由度は9、p 値は0.000であった。p 値が0.05より小さいことから、「引越し前住所の居住期間」と「年齢層」が関連していることが、統計学的に裏付けられる。

報告書における図表の見方

- ① 図表では、各質問の回答者数を母数とした百分率(%)で回答比率を示している。百分率(%)は、原則として小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が100%を前後する場合がある。
- ② 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- ③ 図表内の n は、回答の合計数である。例えば、n = 1,506の場合、回答数は1,506となる。
- ④ ウェイトバック集計を行っており、実際は補正後の回答数が小数以下の値を持つ場合があるため、図表中の回答比率と回答数の合計から通常算出される回答比率とに誤差が生じている場合がある。
- ⑤ 回答比率により順位を示している図表については、上位5位までの内容を掲載している。回答比率が同数の順位表記について、1位から5位までにおいて同数となる場合は、当該設問の回答選択肢番号が小さい順で順位付けをしており、5位と6位が同数となる場合は、いずれも5位として掲載している。

Ⅱ 調査結果

調査結果については、調査票の設問ごとに、基本集計と必要に応じてクロス集計を掲載している。

1 年齢（問1）

問1 現在のあなたの年齢をお答えください。

1	18歳未満	2	18～19歳	3	20～24歳	4	25～29歳	5	30～34歳
6	35～39歳	7	40～44歳	8	45～49歳	9	50～54歳	10	55～59歳
11	60～64歳	12	65～69歳	13	70～74歳	14	75～79歳	15	80～84歳
16	85～89歳	17	90歳以上						

(1) 基本集計結果

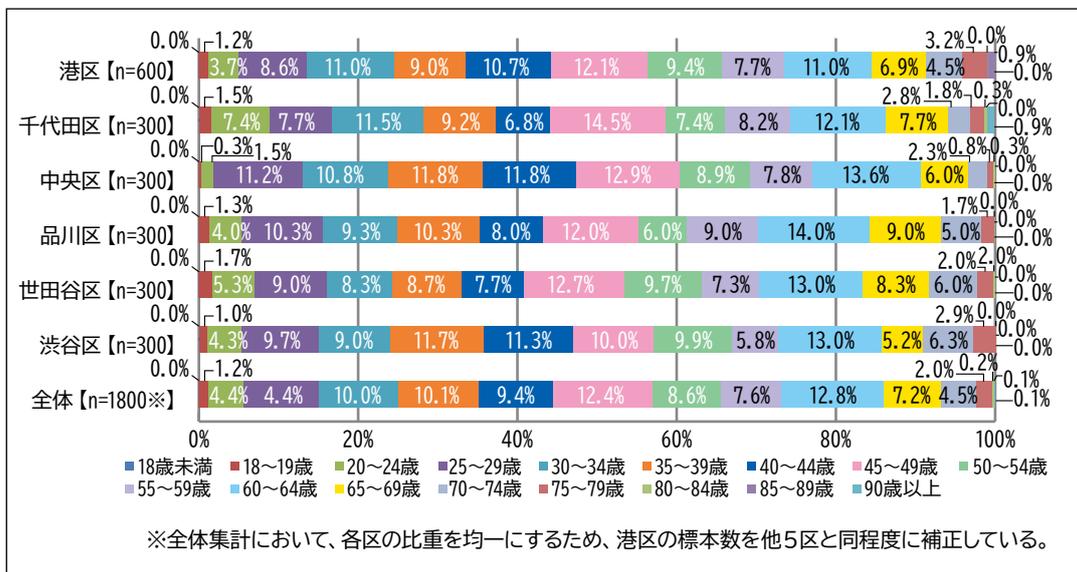
6区

各区の年齢構成はウエイトバック集計により母集団（各区人口）の割合と同様になるよう補正している。

■調査結果

港区は、「45～49歳」が12.1%で最も多く、次いで「30～34歳」（11.0%）、「60～64歳」（11.0%）が同率2位である。

図表2-1-1-1 年齢



2 性別（問2）

問2 性別をお答えください。

1 男性 2 女性

（1）基本集計結果

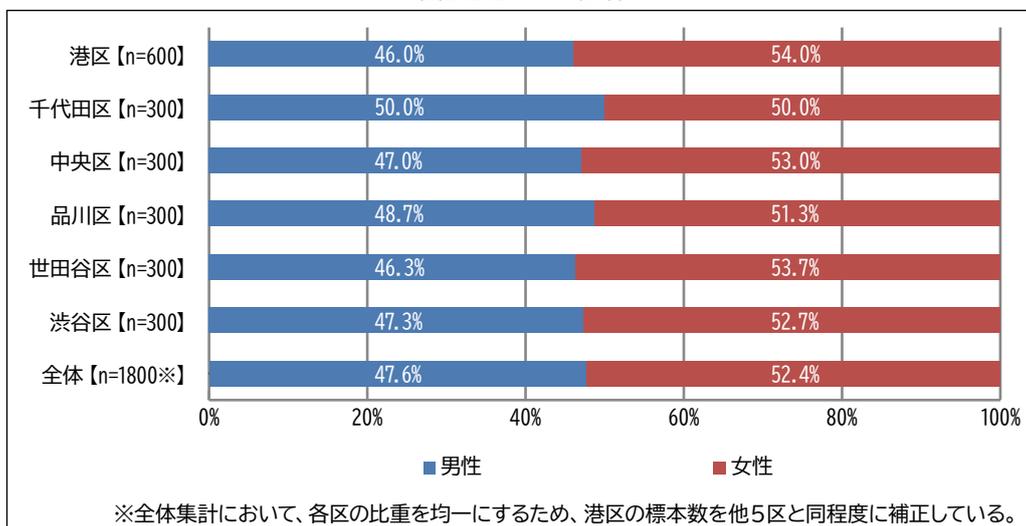
6区

各区の性別はウエイトバック集計により母集団（各区人口）の割合と同様になるよう補正している。

■調査結果

港区は、「男性」が46.0%、「女性」が54.0%である。

図表2-2-1-1 性別



3 職業（問3）

問3 現在のあなたのご職業で当てはまるものをお答えください。

1 自営業主・家族従業 2 法人の経営者 3 会社員・団体職員・公務員
4 アルバイト・パートタイマー 5 家事専業 6 学生
7 無職 8 その他

（1）基本集計結果

6区

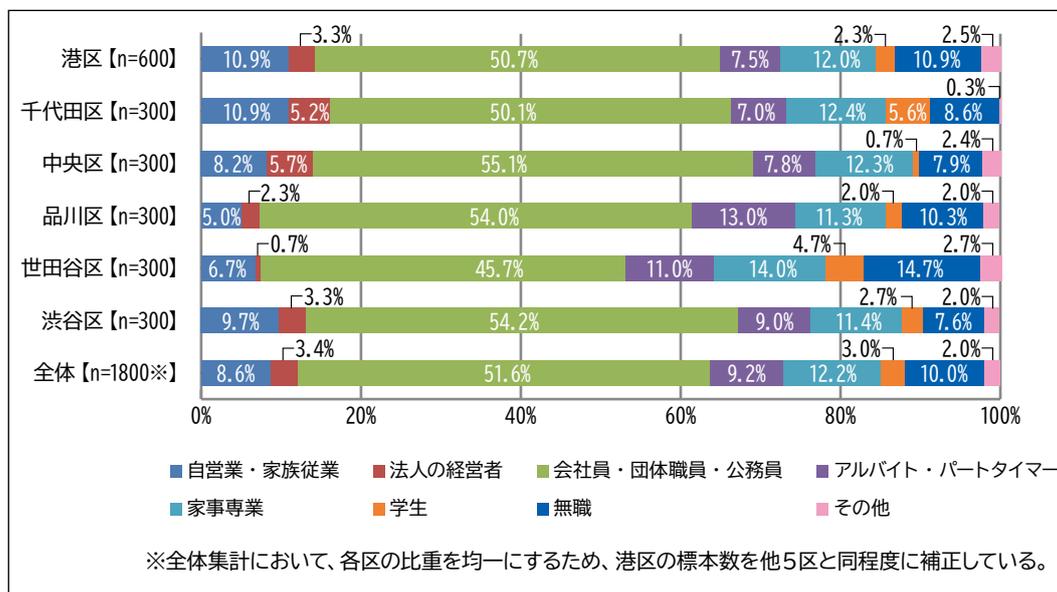
いずれの区も「会社員・団体職員・公務員」の割合が4割を超える。港区は「自営業主・家族従業」の割合が千代田区と並んで6区で1位となっている。

■調査結果

港区は、「会社員・団体職員・公務員」が50.7%で最も多く、次いで「家事専業」（12.0%）、「自営業

主・家族従業」(10.9%)などが多くなっている。

図表2-3-1-1 職業



(2) クロス集計結果

ア 年齢別職業

港区

年齢が高いほど「自営業・家族従業」、「家事専業」、「無職」の割合が高い傾向がある。年齢が低いほど「会社員・団体職員・公務員」の割合が高い。

■調査結果

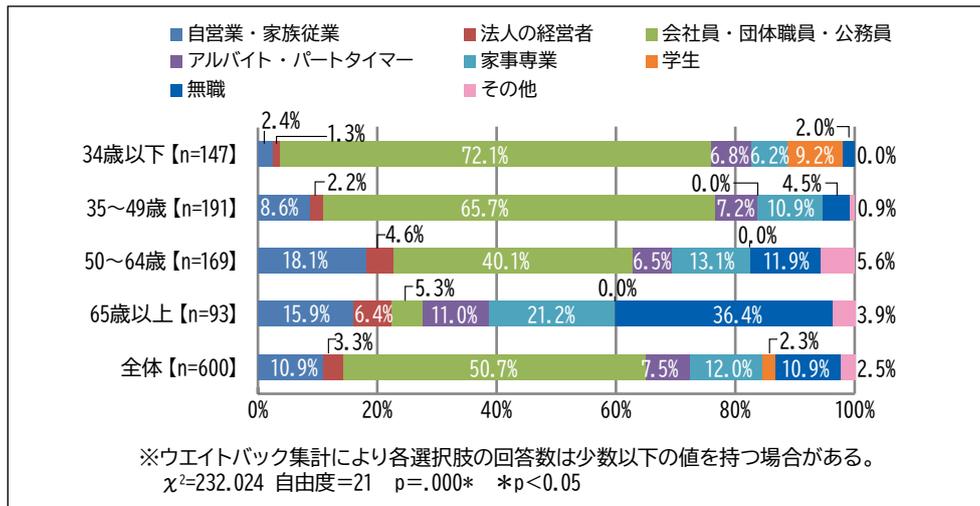
「34歳以下」は、「会社員・団体職員・公務員」が72.1%で最も多く、次いで「学生」(9.2%)、「アルバイト・パートタイマー」(6.8%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「会社員・団体職員・公務員」が65.7%で最も多く、次いで「家事専業」(10.9%)、「自営業・家族従業」(8.6%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「会社員・団体職員・公務員」が40.1%で最も多く、次いで「自営業・家族従業」(18.1%)、「家事専業」(13.1%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「無職」が36.4%で最も多く、次いで「家事専業」(21.2%)、「自営業・家族従業」(15.9%)などが多くなっている。

図表2-3-2-1 年齢別職業



4 家族構成 問4 (1)

問4 現在の同居家族の人数及びそれぞれの同居人の状況をお答えください。(複数回答)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1 配偶者 (人) | 2 子ども (人) | 3 親 (人) |
| 4 その他親族 (人) | 5 その他同居人 (人) | |

(1) 基本集計結果

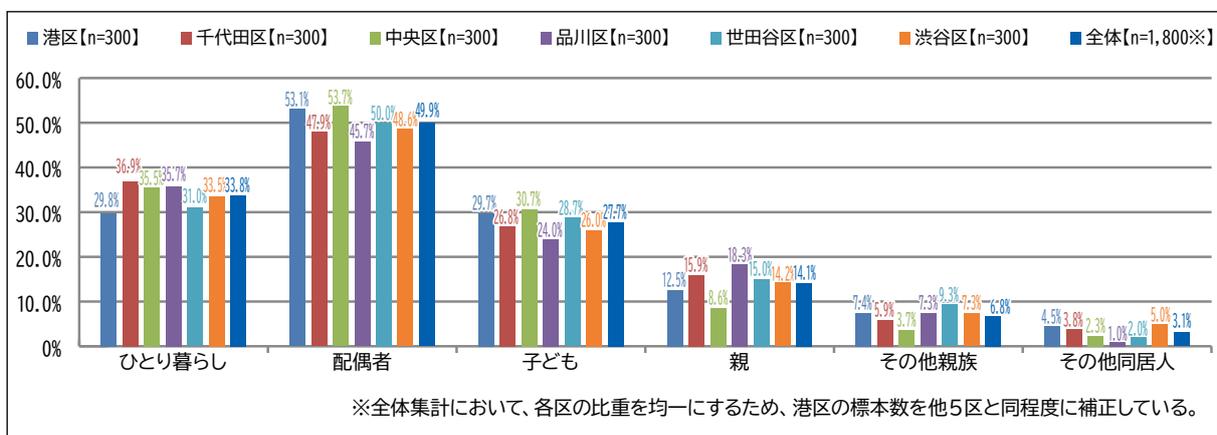
6区

いずれの区も「配偶者」と同居している割合が最も高い。港区は「ひとり暮らし」の割合が6区中最も低い。

■調査結果

港区は、「配偶者」が53.1%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」(29.8%)、「子ども」(29.7%)などが多くなっている。

図表2-4-1-1 家族構成



(2) クロス集計結果
ア 年齢別家族構成

港区

年齢が高いほど配偶者と同居する割合が高く、親と同居する割合が低い。

■調査結果

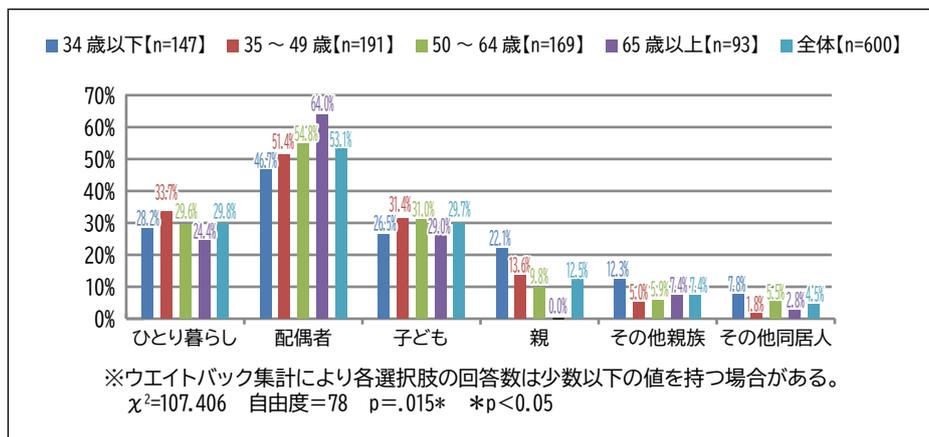
「34歳以下」は、「配偶者」が46.7%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」(28.2%)、「子ども」(26.5%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「配偶者」が51.4%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」(33.7%)、「子ども」(31.4%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「配偶者」が54.8%で最も多く、次いで「子ども」(31.0%)、「ひとり暮らし」(29.6%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「配偶者」が64.0%で最も多く、次いで「子ども」(29.0%)、「ひとり暮らし」(24.4%)などが多くなっている。

図表2-4-2-1 年齢別家族構成



5 婚姻状況 問4 (2)

問4 あなたの婚姻状況についてお答えください (事実婚含む)。

- 1 配偶者がいる (同居・別居含め) 2 配偶者がいない (未婚・離婚・死別)

(1) 基本集計結果

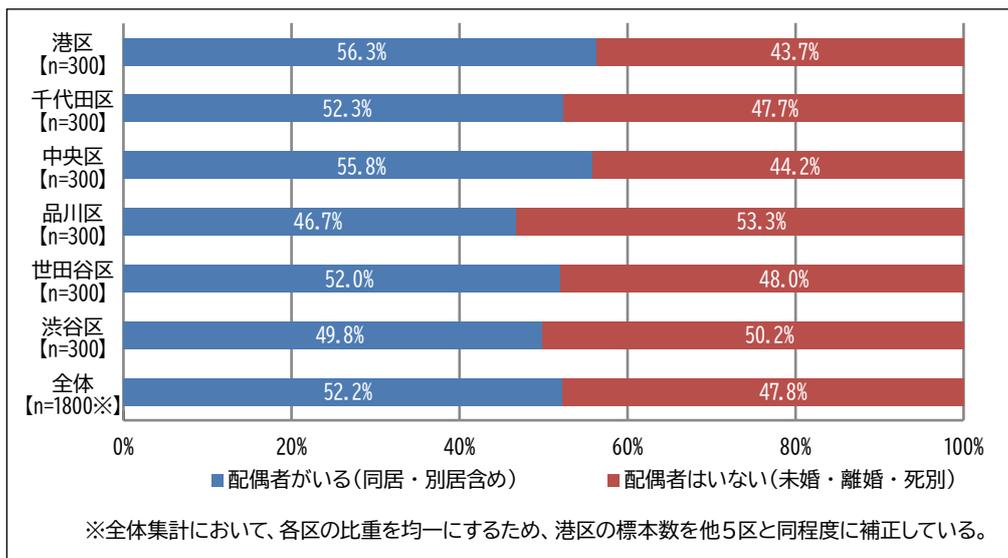
6区

港区は「配偶者がいる」の割合が6区中最も高い。

■調査結果

港区は、「配偶者がいる (同居・別居含め)」が56.3%、「配偶者がいない (未婚・離婚・死別)」(43.7%)となっている。

図表2-5-1-1 婚姻状況



(2) クロス集計結果

ア 年齢別婚姻状況

港区

年齢が高いほど配偶者がいる割合が高く、「34歳以下」では配偶者がいない割合の方が高い。

■調査結果

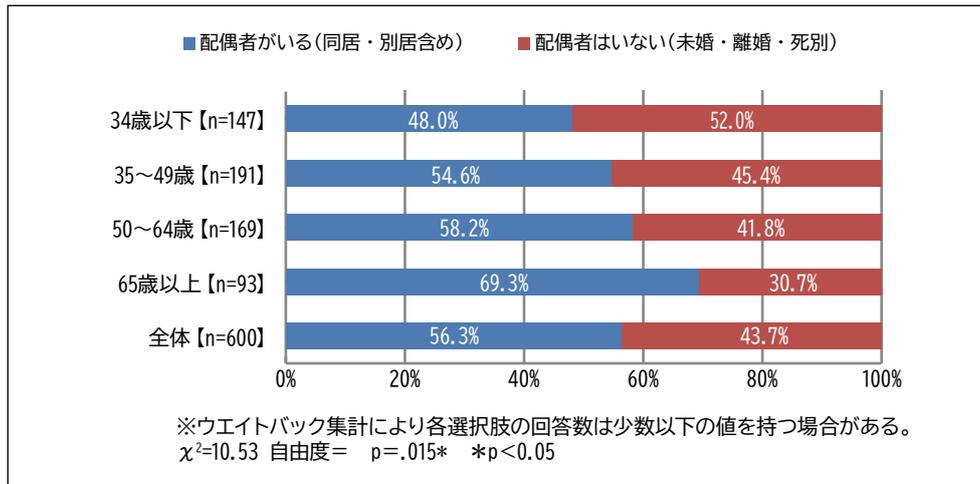
「34歳以下」は、「配偶者がいる（同居・別居含め）」が48.0%、「配偶者がいない（未婚・離婚・死別）」が52.0%である。

「35～49歳」は、「配偶者がいる（同居・別居含め）」が54.6%、「配偶者がいない（未婚・離婚・死別）」が45.4%である。

「50～64歳」は、「配偶者がいる（同居・別居含め）」が58.2%、「配偶者がいない（未婚・離婚・死別）」が41.8%である。

「65歳以上」は、「配偶者がいる（同居・別居含め）」が69.3%、「配偶者がいない（未婚・離婚・死別）」が30.7%である。

図表2-5-2-1 年齢別婚姻状況



6 既婚者の希望子ども数（問5（1））

問5（1） 夫婦で希望する子どもの数についてお伺いします。今いる子どもと今後欲しい子どもの人数をそれぞれお答えください。

今いる子ども（人） 今後欲しい子ども（人）

（1） 基本集計結果

6区

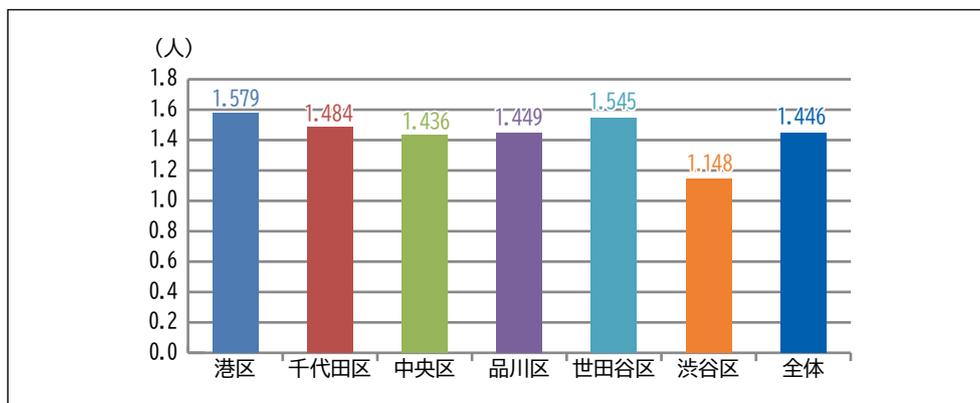
港区は既婚者の希望する子ども数が6区中最も多い。

■調査結果

ここでは、上記質問における「今いる子ども」と「今後欲しい子どもの人数」の和を既婚者で子どもを希望しない人を含めた回答者数で除すことで、最終的に希望する子どもの数を算出している。

港区は1.579人となっている。

図表2-6-1-1 既婚者の希望する子ども数



7 未婚者の結婚希望（問5（2））

問5（2） 将来の結婚の希望の有無についてお答えください。

1 ある 2 ない

（1）基本集計結果

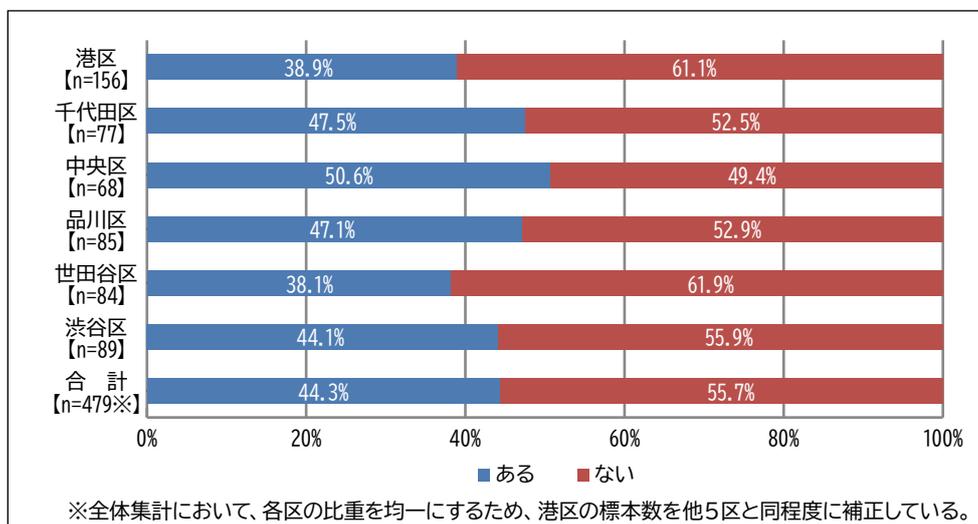
6区

港区は未婚者の結婚希望が世田谷区に次いで低い。

■調査結果

港区は、「ある」が38.9%、「ない」(61.1%)となっている。

図表2-7-1-1 未婚者の結婚希望



8 未婚者の希望子ども数（問5（3））

問5（3） 将来希望する子どもの数をお答えください。

（未婚者の方で結婚希望ありと答えた場合）将来希望する子どもの数をお答えください。（人）

（1）基本集計結果

6区

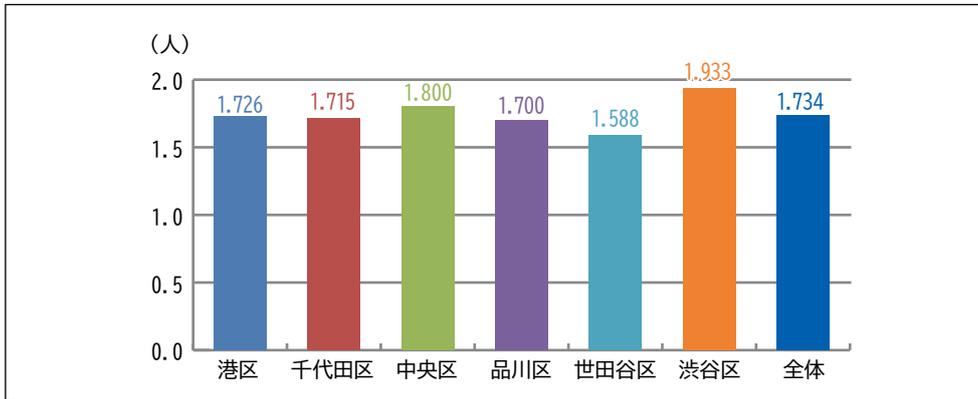
港区は未婚者の将来希望する子ども数が6区中で中位に位置する。

■調査結果

ここでは、上記質問における18歳から34歳の回答者による「将来希望する子どもの人数」を子どもを希望しない人を含めた回答者数で除すことで、希望する子どもの数を算出している。

港区は1,726人となっている。

図表2-8-1-1 未婚者の希望子ども数



9 居住年数 (問6)

問6 現在お住まいの場所における居住年数をお答えください。

- | | | | |
|------------|--------------|---------------|---------------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上2年未満 | 3 2年以上3年未満 | 4 3年以上4年未満 |
| 5 4年以上5年未満 | 6 5年以上6年未満 | 7 6年以上7年未満 | 8 7年以上8年未満 |
| 9 8年以上9年未満 | 10 9年以上10年未満 | 11 10年以上20年未満 | 12 20年以上30年未満 |
| 13 30年以上 | 14 生まれてからずっと | | |

(1) 基本集計結果

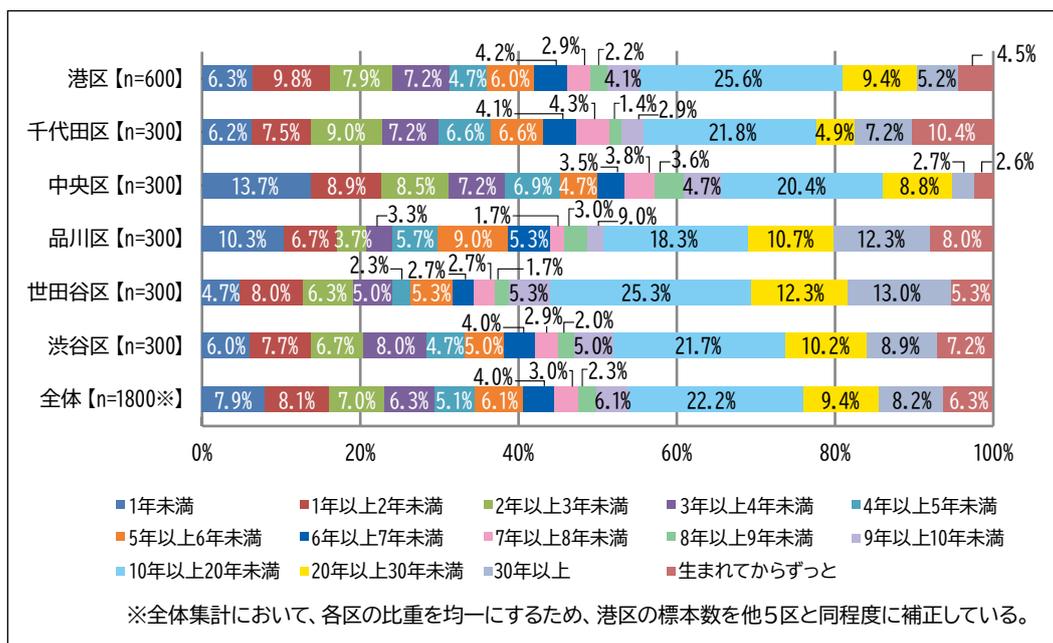
6区

港区における10年以上居住している人の割合は、6区中で中位に位置する。

■調査結果

港区は、「10年以上20年未満」が25.6%で最も多く、次いで「1年以上2年未満」(9.8%)、「20年以上30年未満」(9.4%)などが多くなっている。

図表2-9-1-1 居住年数



(2) クロス集計結果

ア 職業別居住年数

港区

「会社員・団体職員・公務員」は、相対的に居住年数が短い傾向がある。

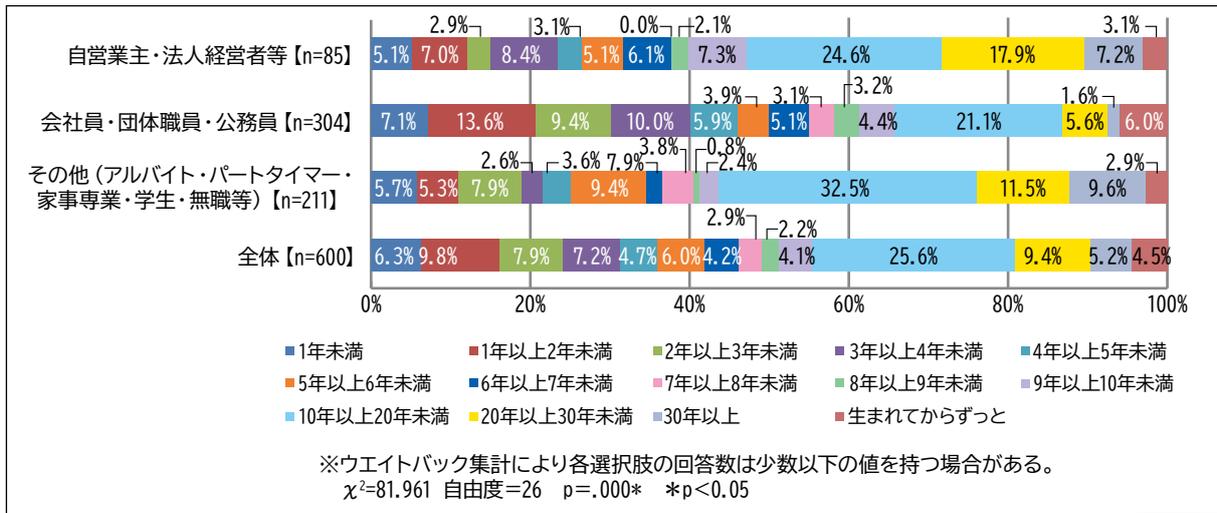
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「10年以上20年未満」が24.6%で最も多く、次いで「20年以上30年未満」(17.9%)、「3年以上4年未満」(8.4%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「10年以上20年未満」が21.1%で最も多く、次いで「1年以上2年未満」(13.6%)、「3年以上4年未満」(10.0%)などが多くなっている。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「10年以上20年未満」が32.5%で最も多く、次いで「20年以上30年未満」(11.5%)、「30年以上」(9.6%)などが多くなっている。

図表2-9-2-1 職業別居住年数



イ 子どもの年齢別居住年数

港区

子どもの年齢が高いほど、居住年数が高い傾向がある。

■調査結果

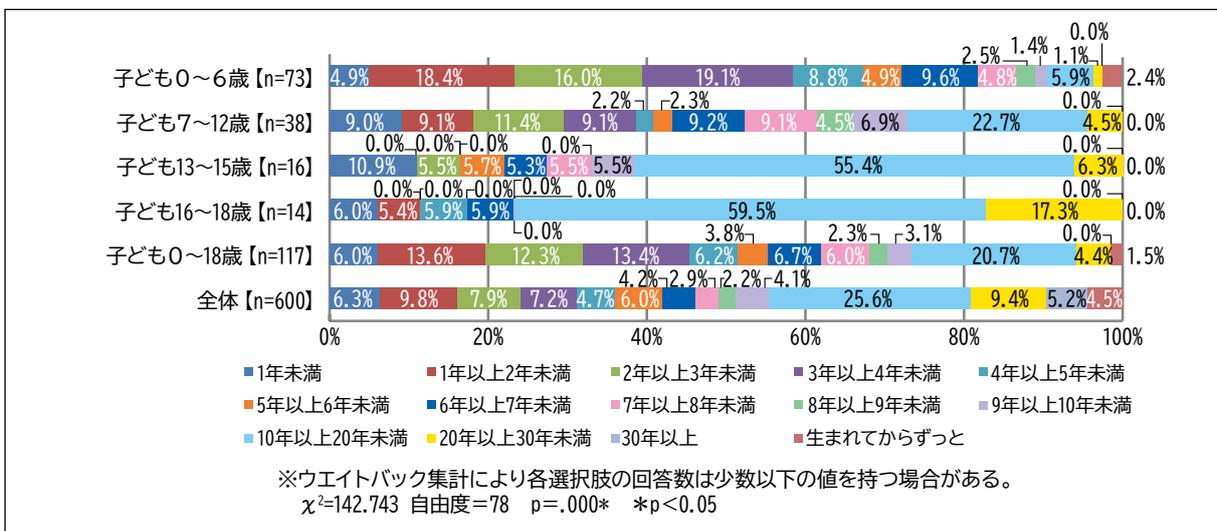
「子ども0～6歳」は、「3年以上4年未満」が19.1%で最も多く、次いで「1年以上2年未満」(18.4%)、「2年以上3年未満」(16%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「10年以上20年未満」が22.7%で最も多く、次いで「2年以上3年未満」(11.4%)、「6年以上7年未満」(9.2%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「10年以上20年未満」が55.4%で最も多く、次いで「1年未満」(10.9%)、「20年以上30年未満」(6.3%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「10年以上20年未満」が59.5%で最も多く、次いで「20年以上30年未満」(17.3%)、「1年未満」(6.0%)などが多くなっている。

図表2-9-2-2 子どもの年齢別居住年数



10 住宅の所有形態（問7）

問7 現在のお住まいの所有形態をお答えください。

- | | | |
|---------------------------|-------------|-----------|
| 1 持家（一戸建） | 2 持家（マンション） | 3 借家（一戸建） |
| 4 民間の賃貸マンション・アパート | | |
| 5 都営住宅・区営住宅・区立住宅・特定公共賃貸住宅 | | |
| 6 UR（旧公団）・公社の賃貸住宅 | 7 社宅・公務員宿舎 | |
| 8 寮・寄宿舍・住み込み・間借り | 9 その他 | |

(1) 基本集計結果

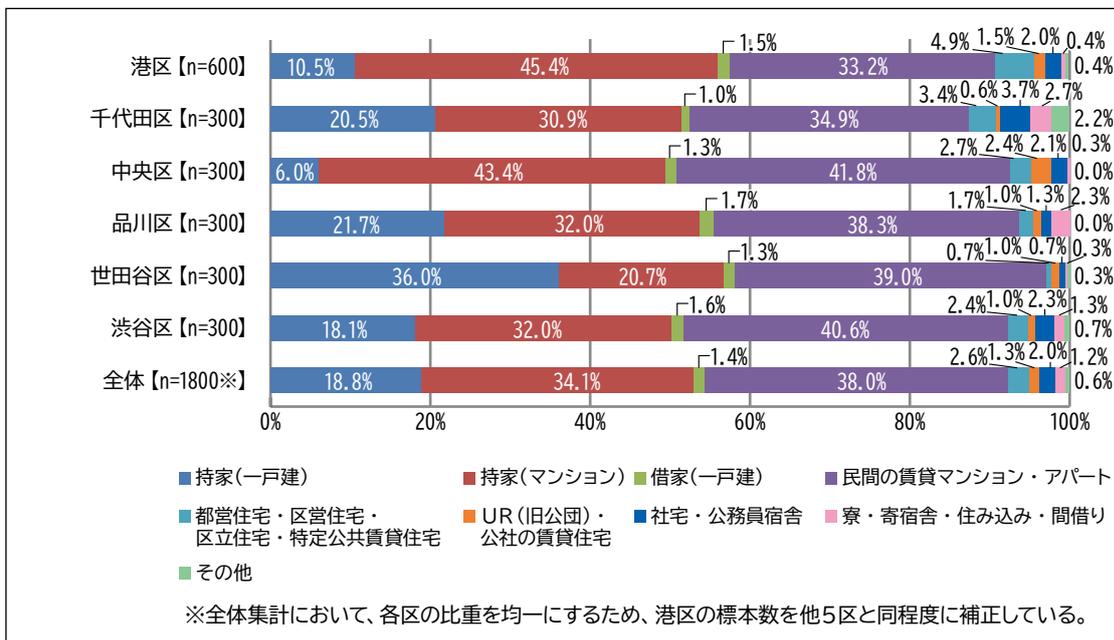
6区

港区の「持家（マンション）」は45.4%で6区中最も高く、持家の合計でも55.9%で世田谷区に次いで高い。一方で「持家（一戸建）」の割合は中央区に次いで低い。

■調査結果

港区は、「持家（マンション）」が45.4%で最も多く、次いで「民間の賃貸マンション・アパート」（33.2%）、「持家（一戸建）」（10.5%）などが多くなっている。

図表2-10-1-1 住宅の所有形態



11 居住する区の満足な点（問8）

問8 現在お住まいの区で満足な点をお答えください。（複数回答・最大5つまで選択可）

- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| 1 住宅価格・家賃 | 15 通信環境の良さ
(インターネットへのつながりやすさ) |
| 2 公共交通機関の利便性 | 16 子育て支援の充実 |
| 3 道路交通の利便性 | 17 教育環境の充実（幼稚園・小学校） |
| 4 防災面における安全性 | 18 教育環境の充実（中学校） |
| 5 治安 | 19 教育環境の充実（高等学校） |
| 6 まちのイメージ | 20 生涯学習の機会の充実 |
| 7 景観・街並み | 21 公園の充実 |
| 8 自然の豊かさ | 22 スポーツ施設の充実 |
| 9 飲食店の充実度 | 23 博物館・美術館など文化施設の充実 |
| 10 買い物のしやすさ | 24 医療機関の充実 |
| 11 環境に配慮したまちづくり | 25 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 |
| 12 地域コミュニティの活動 | 26 国際性の豊かさ |
| 13 友人・知人・親族が近くにいる | 27 その他 |
| 14 勤務先との近さ | 28 満足点はない |

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「公共交通機関の利便性」が1位、「治安」が2位又は3位となっている。港区は「まちのイメージ」の評価が相対的に高く、「買い物のしやすさ」は相対的に低い。

■調査結果

港区は、「公共交通機関の利便性」が66.4%で最も多く、次いで「治安」(41.1%)、「まちのイメージ」(33.5%)などが多くなっている。

図表2-11-1-1 居住する区の満足な点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1,800 ※】
第1位	公共交通機関の利便性 66.4%	公共交通機関の利便性 65.5%	公共交通機関の利便性 78.0%	公共交通機関の利便性 74.3%	公共交通機関の利便性 60.3%	公共交通機関の利便性 72.9%	公共交通機関の利便性 69.6%
第2位	治安 41.1%	治安 41.1%	治安 49.1%	買い物のしやすさ 53.0%	買い物のしやすさ 51.3%	買い物のしやすさ 39.4%	治安 42.2%
第3位	まちのイメージ 33.5%	道路交通の利便性 29.3%	買い物のしやすさ 34.3%	治安 41.0%	治安 47.0%	治安 34.0%	買い物のしやすさ 36.8%
第4位	勤務先との近さ 27.3%	勤務先との近さ 23.0%	勤務先との近さ 32.8%	勤務先との近さ 27.0%	まちのイメージ 31.3%	まちのイメージ 31.1%	勤務先との近さ 24.8%

第5位	買い物のしやすさ	防災面における安全性	まちのイメージ	道路交通の利便性	景観・街並み	飲食店の充実度	道路交通の利便性
	25.8%	20.2%	28.3%	25.0%	20.3%	26.5%	24.5%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別居住する区の満足な点

港区

年齢が高いほど「公共交通機関の利便性」の回答割合が高く、年齢によらず「治安」、「まちのイメージ」の回答割合が高い。

■調査結果

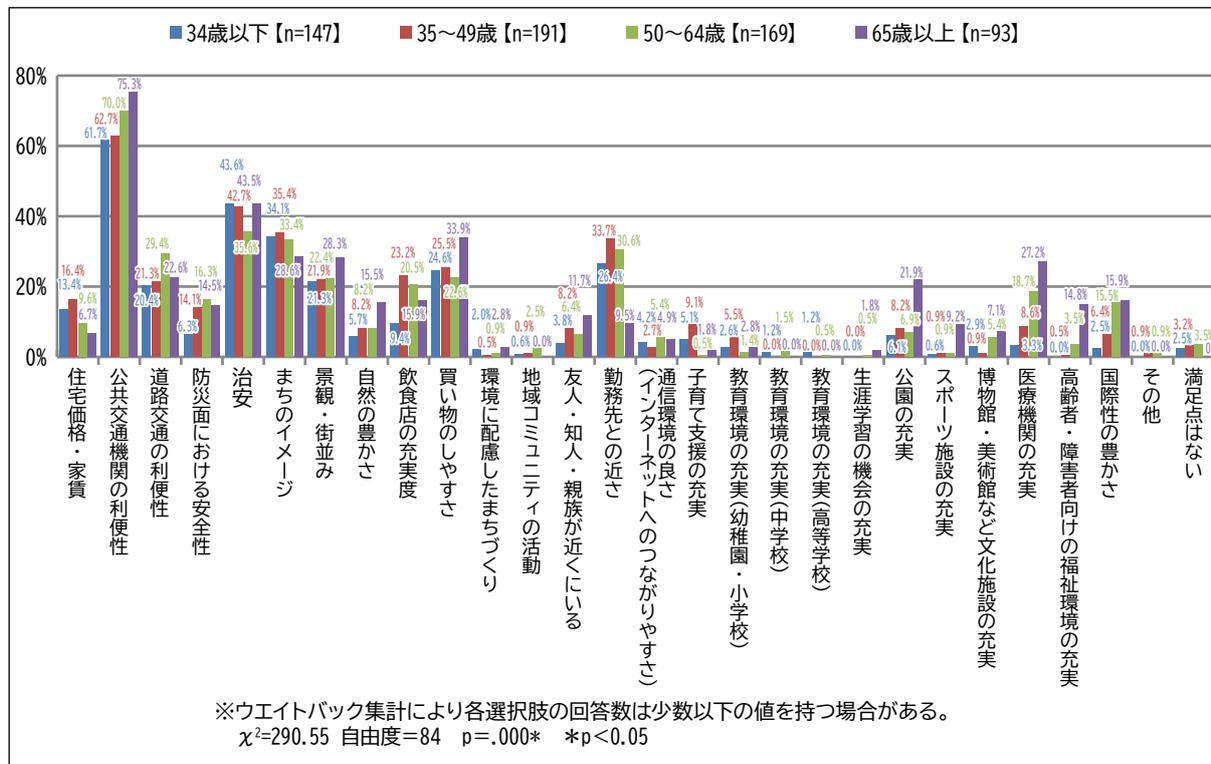
「34歳以下」は、「公共交通機関の利便性」が61.7%で最も多く、次いで「治安」(43.6%)、「まちのイメージ」(34.1%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「公共交通機関の利便性」が62.7%で最も多く、次いで「治安」(42.7%)、「まちのイメージ」(35.4%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「公共交通機関の利便性」が70.0%で最も多く、次いで「治安」(35.6%)、「まちのイメージ」(33.4%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「公共交通機関の利便性」が75.3%で最も多く、次いで「治安」(43.5%)、「買い物のしやすさ」(33.9%)などが多くなっている。

図表2-11-2-1 年齢別居住する区の満足な点



イ 職業別居住する区の満足な点

職業によらず「公共交通機関の利便性」の回答割合が最も高く、次いで「治安」が高くなっている。また、「会社員・団体職員・公務員」は、「勤務先との近さ」が突出して高い。

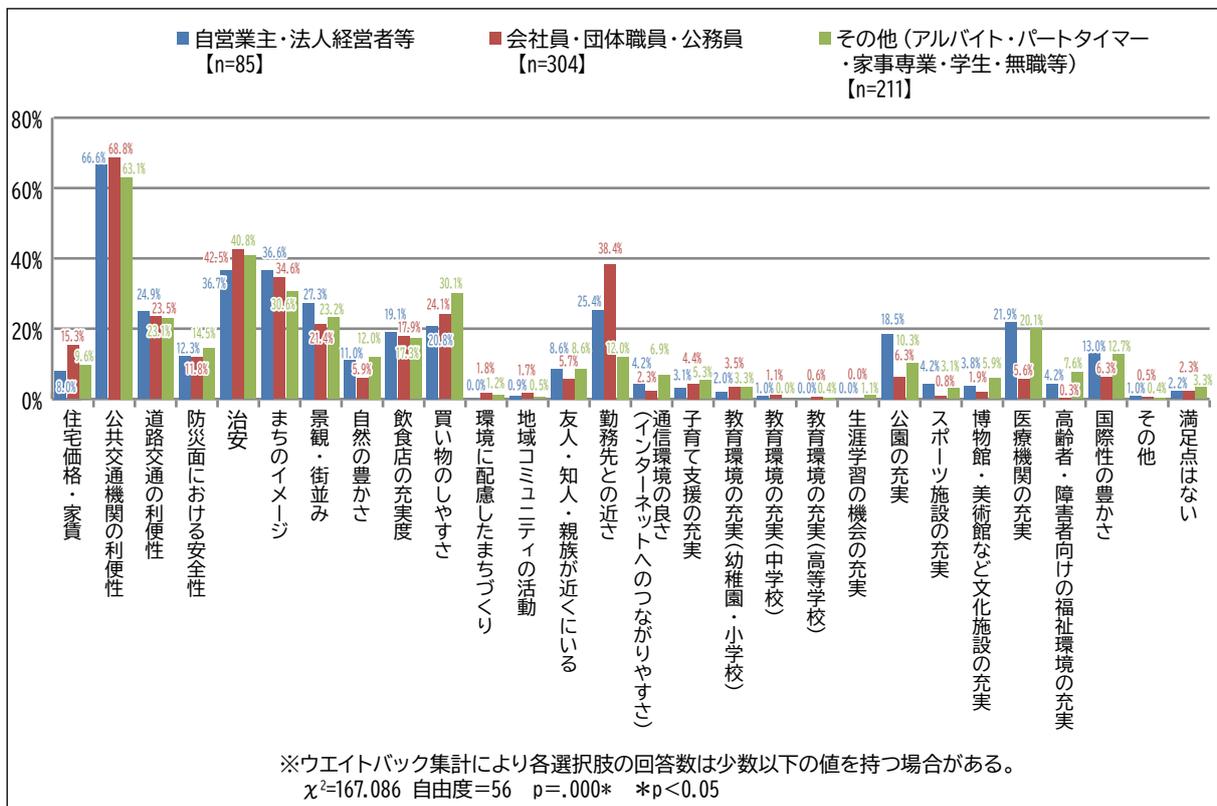
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「公共交通機関の利便性」が66.6%で最も多く、次いで「治安」(36.7%)、「まちのイメージ」(36.6%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「公共交通機関の利便性」が68.8%で最も多く、次いで「治安」(42.5%)、「勤務先との近さ」(38.4%)などが多くなっている。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「公共交通機関の利便性」が63.1%で最も多く、次いで「治安」(40.8%)、「まちのイメージ」(30.6%)などが多くなっている。

図表2-11-2-2 職業別居住する区の満足な点



ウ 居住期間別居住する区の満足な点

居住期間が長いほど、「公共交通機関の利便性」の回答割合が高い傾向がある。

■調査結果

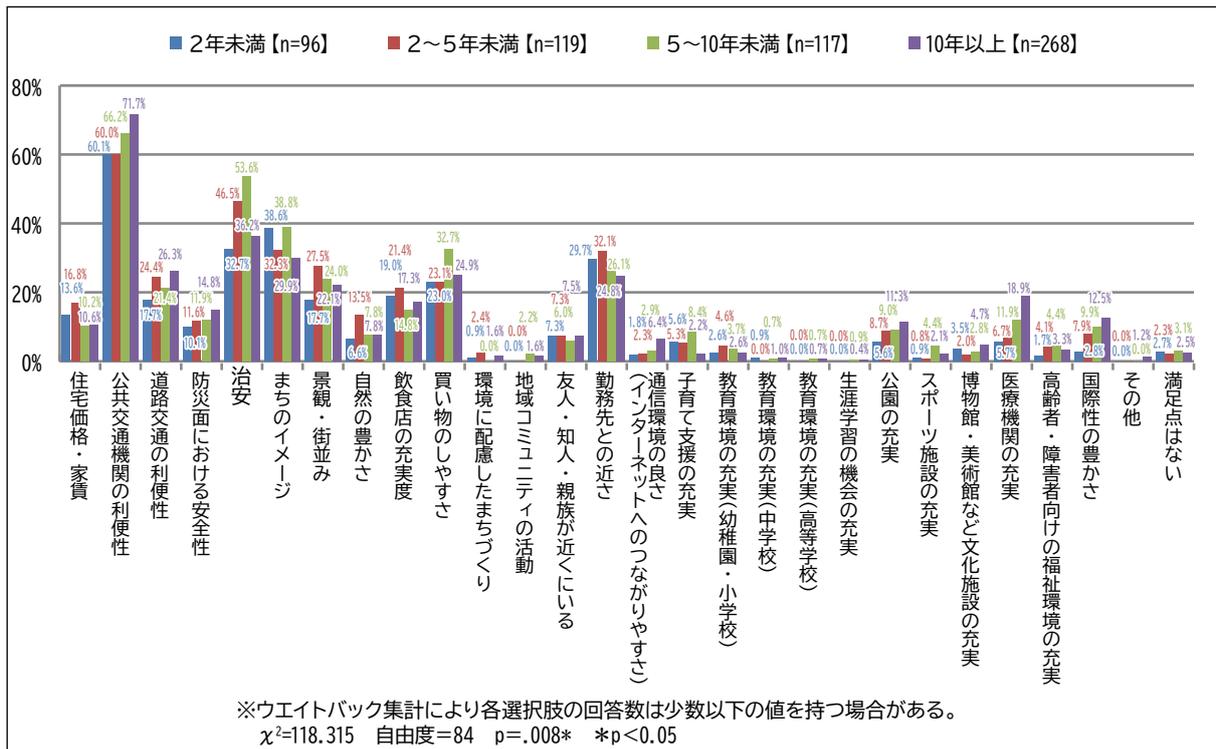
「2年未満」は、「公共交通機関の利便性」が60.1%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(38.6%)、「治安」(32.7%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「公共交通機関の利便性」が60.0%で最も多く、次いで「治安」(46.5%)、「まちのイメージ」(32.3%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「公共交通機関の利便性」が66.2%で最も多く、次いで「治安」(53.6%)、「まちのイメージ」(38.8%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「公共交通機関の利便性」が71.7%で最も多く、次いで「治安」(36.2%)、「まちのイメージ」(29.9%)などが多くなっている。

図表2-11-2-3 居住期間別居住する区の満足な点



エ 子どもの年齢別居住する区の満足な点

港区

子どもの年齢によらず「公共交通機関の利便性」の回答割合が最も高い。また「子ども13～15歳」は「公共交通機関の利便性」の回答割合が突出して高い。

■調査結果

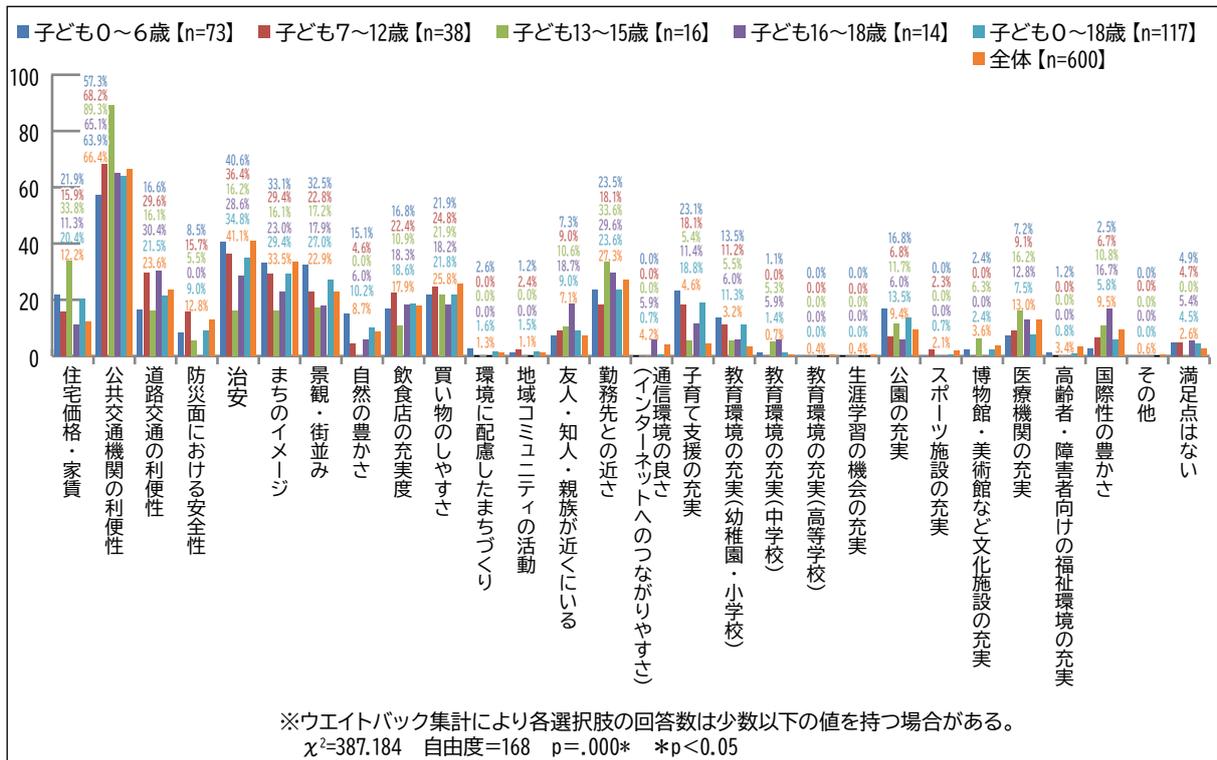
「子ども0～6歳」は、「公共交通機関の利便性」が57.3%で最も多く、次いで「治安」(40.6%)、「まちのイメージ」(33.1%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「公共交通機関の利便性」が68.2%で最も多く、次いで「治安」(36.4%)、「道路交通の利便性」(29.6%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「公共交通機関の利便性」が89.3%で最も多く、次いで「住宅価格・家賃」(33.8%)、「勤務先との近さ」(33.6%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「公共交通機関の利便性」が65.1%で最も多く、次いで「道路交通の利便性」(30.4%)、「勤務先との近さ」(29.6%)などが多くなっている。

図表2-11-2-4 子どもの年齢別居住する区の満足な点



12 居住する区の不満な点（問9）

問9 現在お住まいの区で不満な点をお答えください。（複数回答・最大5つまで選択可）

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1 住宅価格・家賃 | 16 子育て支援の充実 |
| 2 公共交通機関の利便性 | 17 教育環境の充実（幼稚園・小学校） |
| 3 道路交通の利便性 | 18 教育環境の充実（中学校） |
| 4 防災面における安全性 | 19 教育環境の充実（高等学校） |
| 5 治安 | 20 生涯学習の機会の充実 |
| 6 まちのイメージ | 21 公園の充実 |
| 7 景観・街並み | 22 スポーツ施設の充実 |
| 8 自然の豊かさ | 23 博物館・美術館など文化施設の充実 |
| 9 飲食店の充実度 | 24 医療機関の充実 |
| 10 買い物のしにくさ | 25 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 |
| 11 環境に配慮したまちづくり | 26 国際性の豊かさ |
| 12 地域コミュニティの活動 | 27 その他 |
| 13 友人・知人・親族が近くにいない | 28 不満点はない |
| 14 勤務先との近さ | |
| 15 通信環境の良さ
（インターネットへのつながりやすさ） | |

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「住宅価格・家賃」及び「不満点はない」が1位又は2位となっている。港区の「住宅価格・家賃」は34.2%で、6区中2位と相対的に高く、「買い物のしにくさ」は24.4%で6区中最も高い。

■調査結果

港区は、「住宅価格・家賃」が34.2%で最も多く、次いで「不満点はない」(25.7%)、「買い物のしにくさ」(24.4%)などが多くなっている。

図表2-12-1-1 居住する区の不満な点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1,800 ※】
第1位	住宅価格・家賃 34.2%	住宅価格・家賃 26.4%	住宅価格・家賃 39.8%	不満点はない 32.7%	不満点はない 34.0%	住宅価格・家賃 30.7%	住宅価格・家賃 30.3%
第2位	不満点はない 25.7%	不満点はない 25.5%	不満点はない 23.7%	住宅価格・家賃 27.7%	住宅価格・家賃 23.0%	不満点はない 28.8%	不満点はない 28.4%
第3位	買い物のしにくさ 24.4%	買い物のしにくさ 22.5%	買い物のしにくさ 15.4%	自然の豊かさ 11.0%	友人・知人・親族が近くにいない 10.0%	自然の豊かさ 15.8%	買い物のしにくさ 14.8%
第4位	飲食店の充実度 13.8%	自然の豊かさ 20.0%	自然の豊かさ 15.3%	防災面における安全性 10.0%	飲食店の充実度 9.3%	買い物のしにくさ 13.4%	自然の豊かさ 13.9%
第5位	自然の豊かさ 12.2%	友人・知人・親族が近くにいない 8.3%	飲食店の充実度 13.9%	飲食店の充実度 9.3%	自然の豊かさ/博物館・美術館など文化施設の充実 9.0%	公園の充実 8.5%	飲食店の充実度 10.2%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 居住期間別居住する区の不満な点

港区

居住期間が長くなるほど、「住宅価格・家賃」を回答する割合が低くなり、「不満点はない」を回答する割合が高くなる。

■調査結果

「2年未満」は、「住宅価格・家賃」が45.5%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(34.1%)、「不満点はない」(21.6%)などが多くなっている。

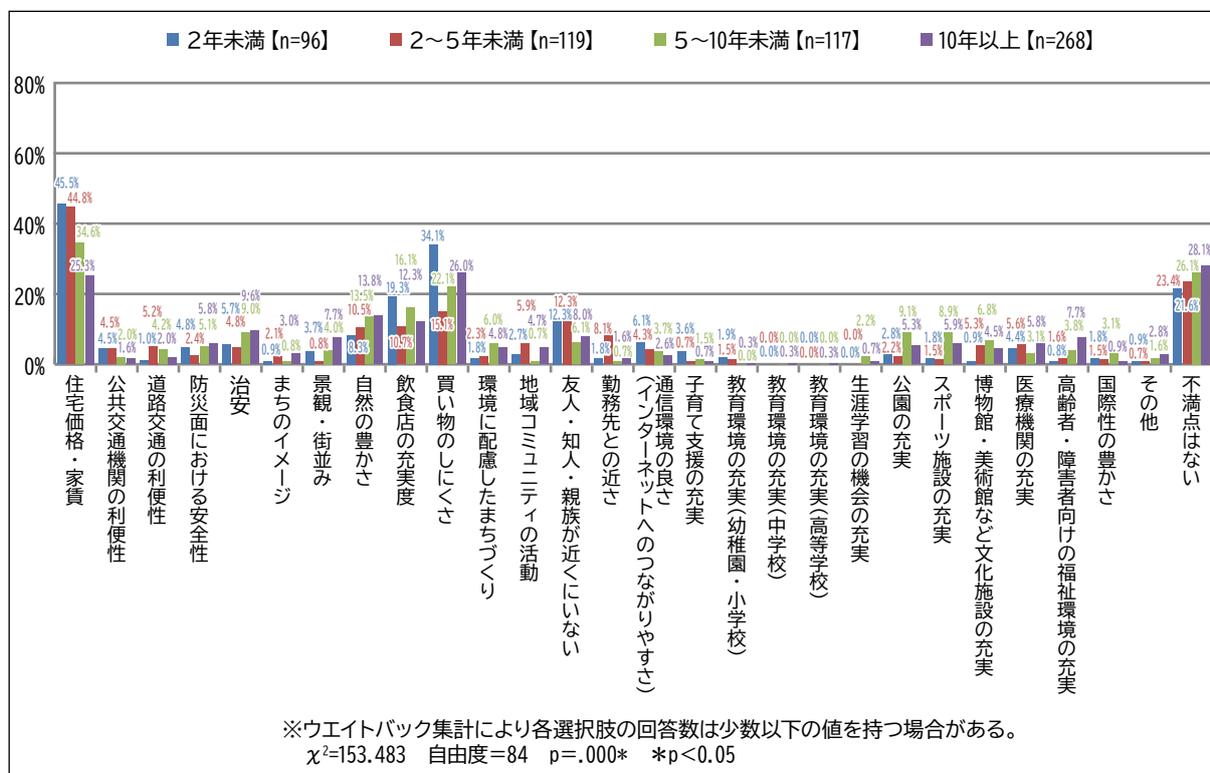
「2～5年未満」は、「住宅価格・家賃」が44.8%で最も多く、次いで「不満点はない」(23.4%)、「買い物のしにくさ」(15.1%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「住宅価格・家賃」が34.6%で最も多く、次いで「不満点はない」(26.1%)、「買い物のしにくさ」(22.1%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「不満点はない」が28.1%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(26.0%)、「住

宅価格・家賃」(25.3%)などが多くなっている。

図表2-12-2-1 居住期間別居住する区の不満な点



港区

イ 子どもの年齢別居住する区の不満な点

「子ども13～15歳」、「子ども16～18歳」は、「買い物のしにくさ」、「自然の豊かさ」への回答割合が高い。

■ 調査結果

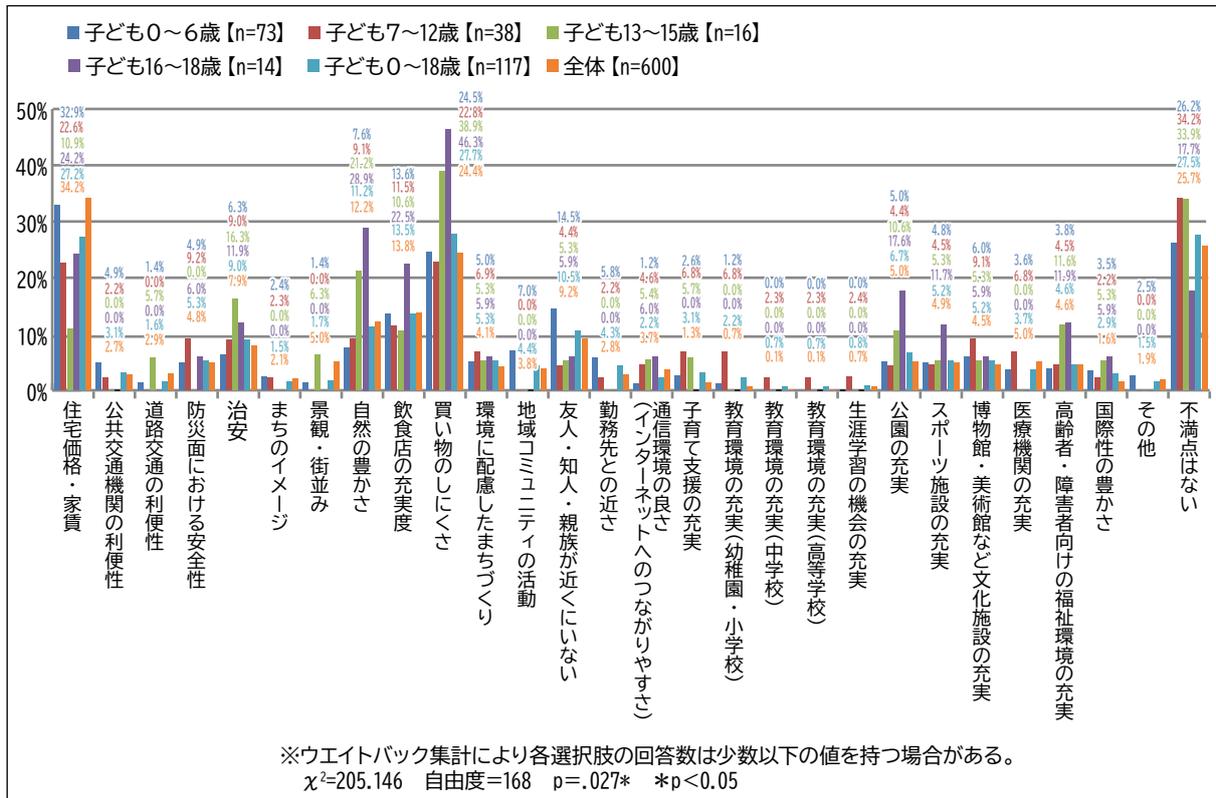
「子ども0～6歳」は、「住宅価格・家賃」が32.9%で最も多く、次いで「不満点はない」(26.2%)、「買い物のしにくさ」(24.5%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「不満点はない」が34.2%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(22.8%)、「住宅価格・家賃」(22.6%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「買い物のしにくさ」が38.9%で最も多く、次いで「不満点はない」(33.9%)、「自然の豊かさ」(21.2%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「買い物のしにくさ」が46.3%で最も多く、次いで「自然の豊かさ」(28.9%)、「住宅価格・家賃」(24.2%)などが多くなっている。

図表2-12-2-2 子どもの年齢別居住する区の不満な点



ウ 未婚者の結婚希望別居住する区の不満な点

「ある」は、「住宅価格・家賃」、「買い物のしにくさ」、「飲食店の充実度」、「治安」、「友人・知人・親族が近くにいない」などの回答割合が相対的に高い。

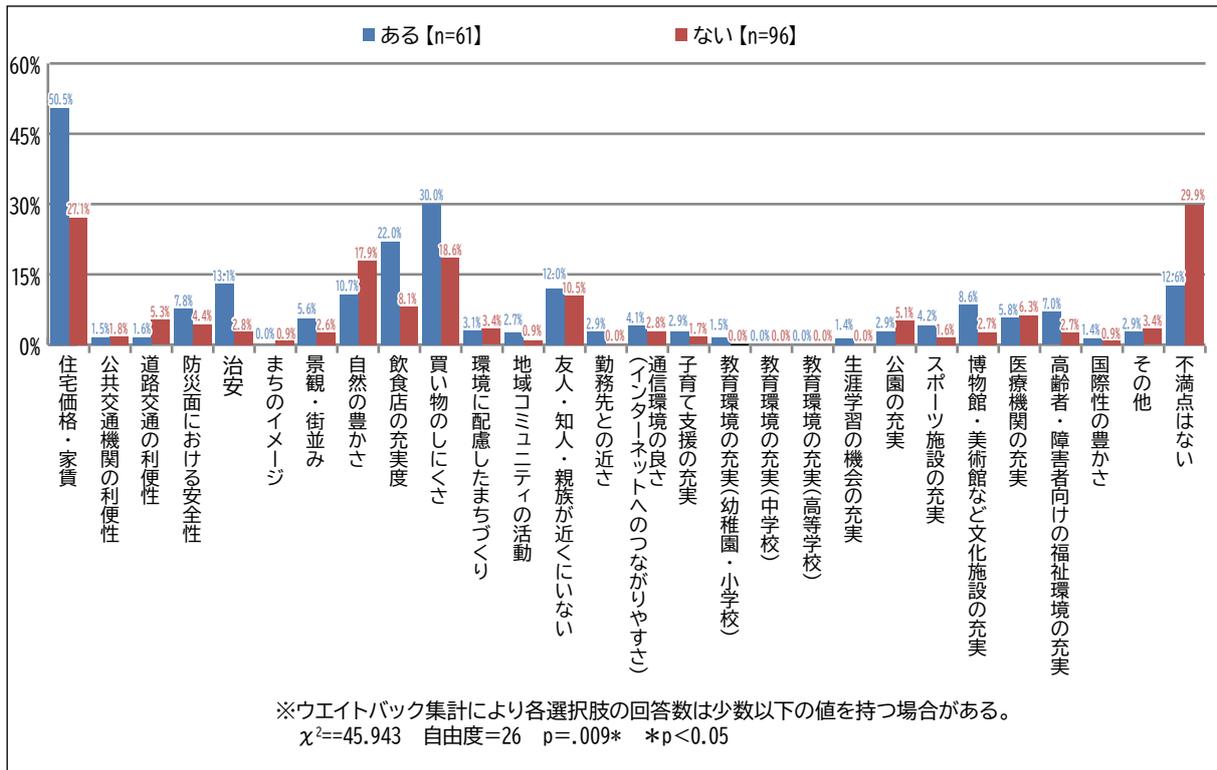
「ない」は、「不満点はない」、「自然の豊かさ」、「道路交通の利便性」などの回答割合が相対的に高い。

■ 調査結果

「ある」は、「住宅価格・家賃」が50.5%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(30.0%)、「飲食店の充実度」(22.0%)などが多くなっている。

「ない」は、「不満点はない」が29.9%で最も多く、次いで「住宅価格・家賃」(27.1%)、「買い物のしにくさ」(18.6%)などが多くなっている。

図表2-12-2-3 未婚者の結婚希望別居住する区の不満な点



13 買い物環境への評価 (問10 (1))

問10 (1) 普段の食料品、日用品(洗剤、衛生用品、台所用品、雑貨等)の買い物の環境に対する評価をお答えください。

1 よい 2 ややよい 3 どちらとも言えない 4 やや悪い 5 悪い

(1) 基本集計結果

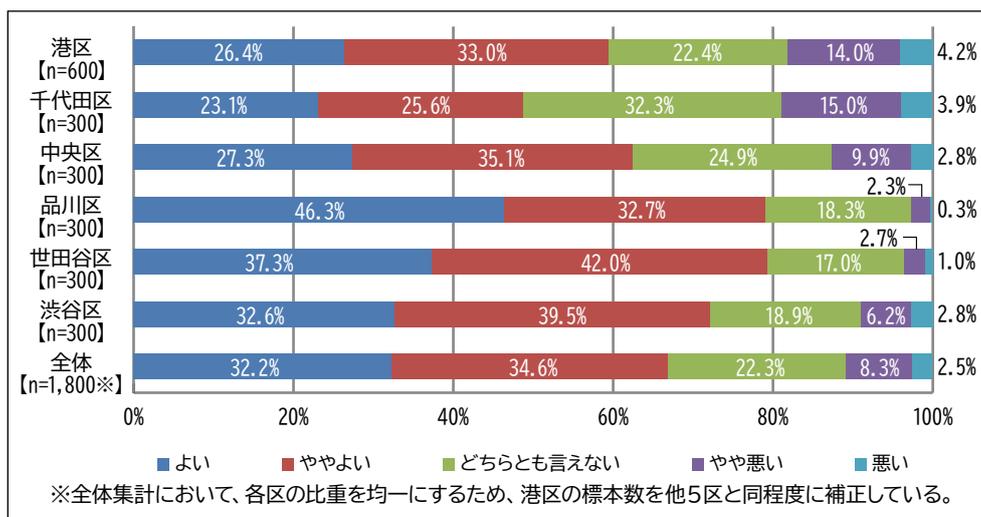
6区

「よい」と「ややよい」の合計について、港区は6割弱で、千代田区に次いで低い。

■調査結果

港区は、「ややよい」が33.0%で最も多く、次いで「よい」(26.4%)、「どちらとも言えない」(22.4%)などが多くなっている。

図表2-13-1-1 買い物環境への評価



(2) クロス集計結果

ア 居住期間別買い物環境への評価【参考値】

港区

「2～5年未満」、「5～10年未満」で、「よい」、「ややよい」の回答が60%を超えている。

■ 調査結果

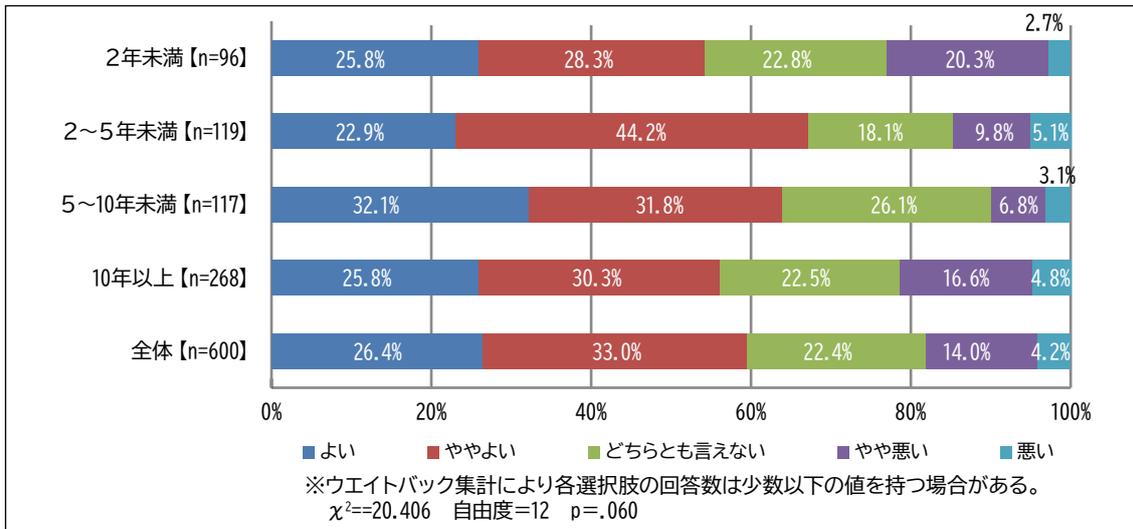
「2年未満」は、「ややよい」が28.3%で最も多く、次いで「よい」(25.8%)、「どちらとも言えない」(22.8%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「ややよい」が44.2%で最も多く、次いで「よい」(22.9%)、「どちらとも言えない」(18.1%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「よい」が32.1%で最も多く、次いで「ややよい」(31.8%)、「どちらとも言えない」(26.1%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「ややよい」が30.3%で最も多く、次いで「よい」(25.8%)、「どちらとも言えない」(22.5%)などが多くなっている。

図表2-13-2-1 居住期間別買い物環境への評価【参考値】



14 買い物環境の良い点（問10（2））

問10（2） 食料品、日用品の買い物の環境としてよい点をお答えください。

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| 1 店までの距離 | 8 レジ・会計にかかる時間 |
| 2 買い物で利用する交通機関（バス等） | 9 利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応 |
| 3 店の駐車場の有無・使いやすさ | 10 営業時間の長さ |
| 4 品揃え | 11 店の雰囲気 |
| 5 食料品の価格 | 12 店員の対応・態度 |
| 6 日用品の価格 | 13 その他 |
| 7 品物の鮮度・品質 | |

（1）基本集計結果

6区

いずれの区でも「店までの距離」が1位となっているが、港区は千代田区に次いで低い。

■調査結果

港区は、「店までの距離」が68.5%で最も多く、次いで「営業時間の長さ」（39.9%）、「品揃え」（36.3%）などが多くなっている。

図表2-14-1-1 買い物環境の良い点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1,800 ※】
第1位	店までの距離 68.5%	店までの距離 65.8%	店までの距離 76.0%	店までの距離 85.0%	店までの距離 81.3%	店までの距離 76.7%	店までの距離 75.6%
第2位	営業時間の長さ	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応	営業時間の長さ	品揃え	品揃え	品揃え	品揃え
	39.9%	34.7%	43.7%	51%	58%	44.8%	41.4%
第3位	品揃え	営業時間の長さ	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応	食料品の価格	食料品の価格	営業時間の長さ	営業時間の長さ
	36.3%	31.3%	36.2%	41.7%	50.7%	43.3%	38.5%
第4位	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応	買い物で利用する交通機関(バス等)	品揃え	日用品の価格	日用品の価格	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応
	32.9%	28.0%	33.2%	38.7%	41.7%	36.5%	34.8%
第5位	買い物で利用する交通機関(バス等)	品揃え	買い物で利用する交通機関(バス等)	営業時間の長さ	営業時間の長さ	食料品の価格	食料品の価格
	24.1%	24.9%	24.5%	38.3%	34.3%	35.1%	32.0%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別買い物環境の良い点

港区

年齢が高くなるほど「店までの距離」と「買い物で利用する交通機関(バス等)」の回答割合が高くなる。

■調査結果

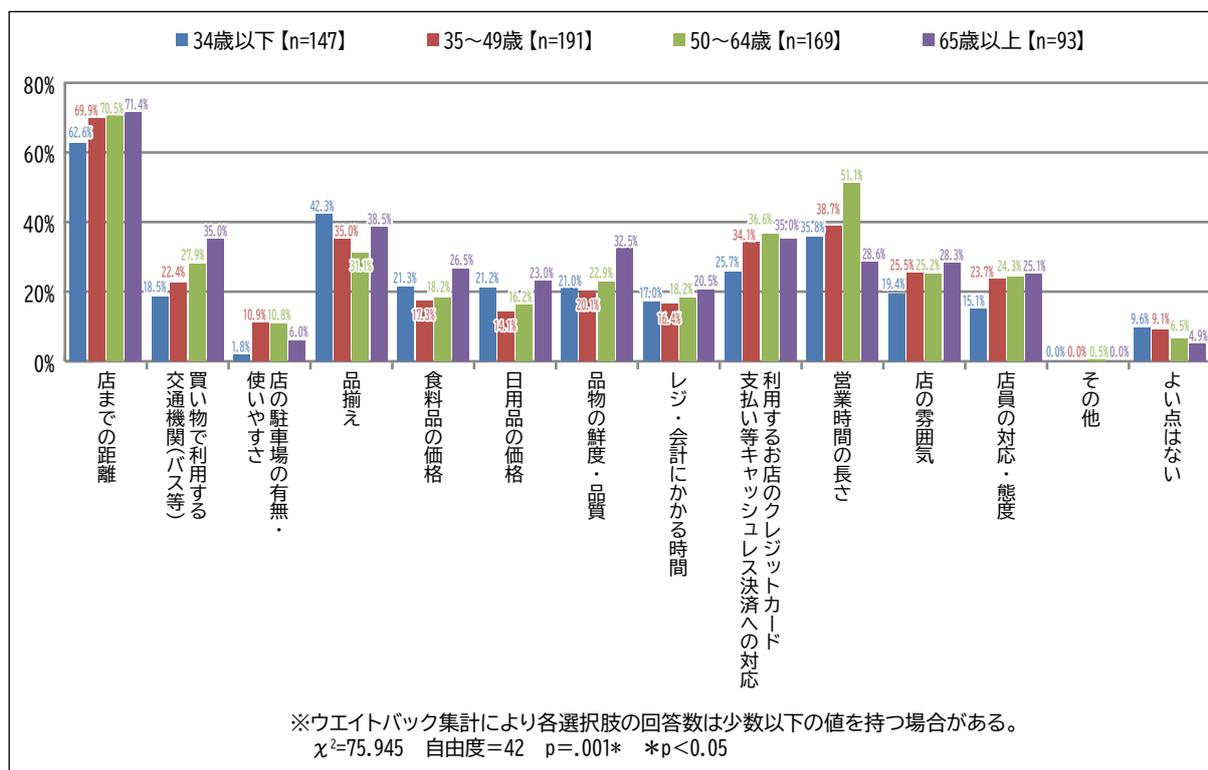
「34歳以下」は、「店までの距離」が62.6%で最も多く、次いで「品揃え」(42.3%)、「営業時間の長さ」(35.8%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「店までの距離」が69.9%で最も多く、次いで「営業時間の長さ」(38.7%)、「品揃え」(35.0%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「店までの距離」が70.5%で最も多く、次いで「営業時間の長さ」(51.1%)、「利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応」(36.6%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「店までの距離」が71.4%で最も多く、次いで「品揃え」(38.5%)が続き、「買い物で利用する交通機関(バス等)」(35.0%)、「利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応」(35.0%)が同率3位である。

図表2-14-2-1 年齢別買い物環境の良い点



イ 居住期間別買い物環境の良い点

港区

居住期間によらず「店までの距離」の回答割合が高く、その中でも「5～10年未満」が際立っている。

■調査結果

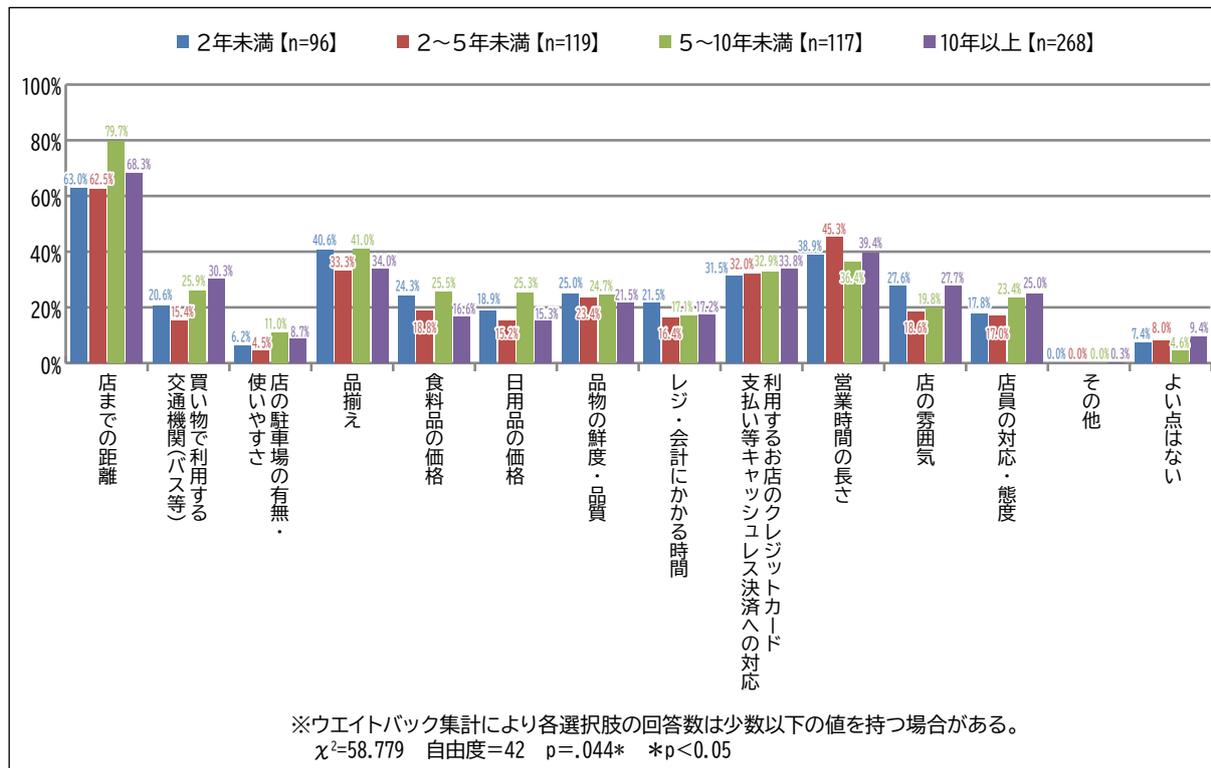
「2年未満」は、「店までの距離」が63.0%で最も多く、次いで「品揃え」(40.6%)、「営業時間の長さ」(38.9%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「店までの距離」が62.5%で最も多く、次いで「営業時間の長さ」(45.3%)、「品揃え」(33.3%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「店までの距離」が79.7%で最も多く、次いで「品揃え」(41.0%)、「営業時間の長さ」(36.4%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「店までの距離」が68.3%で最も多く、次いで「営業時間の長さ」(39.4%)、「品揃え」(34.0%)などが多くなっている。

図表2-14-2-2 居住期間別買い物環境の良い点



15 買い物環境の最も良い点（問10（3））

問10（3） 食料品、日用品の買い物の環境としてよい点のうち、最も当てはまるもの

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| 1 店までの距離 | 8 レジ・会計にかかる時間 |
| 2 買い物で利用する交通機関（バス等） | 9 利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応 |
| 3 店の駐車場の有無・使いやすさ | 10 営業時間の長さ |
| 4 品揃え | 11 店の雰囲気 |
| 5 食料品の価格 | 12 店員の対応・態度 |
| 6 日用品の価格 | 13 その他 |
| 7 品物の鮮度・品質 | |

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「店までの距離」が1位となっており、その他突出して高い項目はない。

■調査結果

港区は、「店までの距離」が46.1%で最も多く、次いで「営業時間の長さ」（10.3%）、「品揃え」（10.1%）などが多くなっている。

図表2-15-1-1 買い物環境の最も良い点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1800 ※】
第1位	店までの距離 46.1%	店までの距離 46.9%	店までの距離 51.0%	店までの距離 59.0%	店までの距離 53.7%	店までの距離 50.7%	店までの距離 51.2%
第2位	営業時間の長さ	よい点はない	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応	食料品の価格	品揃え	品揃え	よい点はない
	10.3%	15.7%	10.3%	11.0%	12.0%	8.9%	8.1%
第3位	品揃え	買い物で利用する交通機関(バス等)	営業時間の長さ	品揃え	食料品の価格	食料品の価格	品揃え
	10.1%	9.3%	9.4%	6.7%	9.3%	7.7%	7.6%
第4位	よい点はない	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応	よい点はない	よい点はない	よい点はない	よい点はない	営業時間の長さ
	7.9%	6.3%	8.4%	4.3%	4.7%	7.5%	6.5%
第5位	品物の鮮度・品質	営業時間の長さ	買い物で利用する交通機関(バス等)	利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応 / 営業時間の長さ	品物の鮮度・品質	営業時間の長さ	食料品の価格
	5.6%	5.3%	5.6%	4.0%	4.3%	7%	6.1%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別買い物環境の最も良い点【参考値】

港区

年齢によらず「店までの距離」の回答割合が高く、34歳以下では「品揃え」が、50～64歳では「営業時間の長さ」が、65歳以上では「買い物で利用する交通機関(バス等)」がそれぞれ高くなっている。

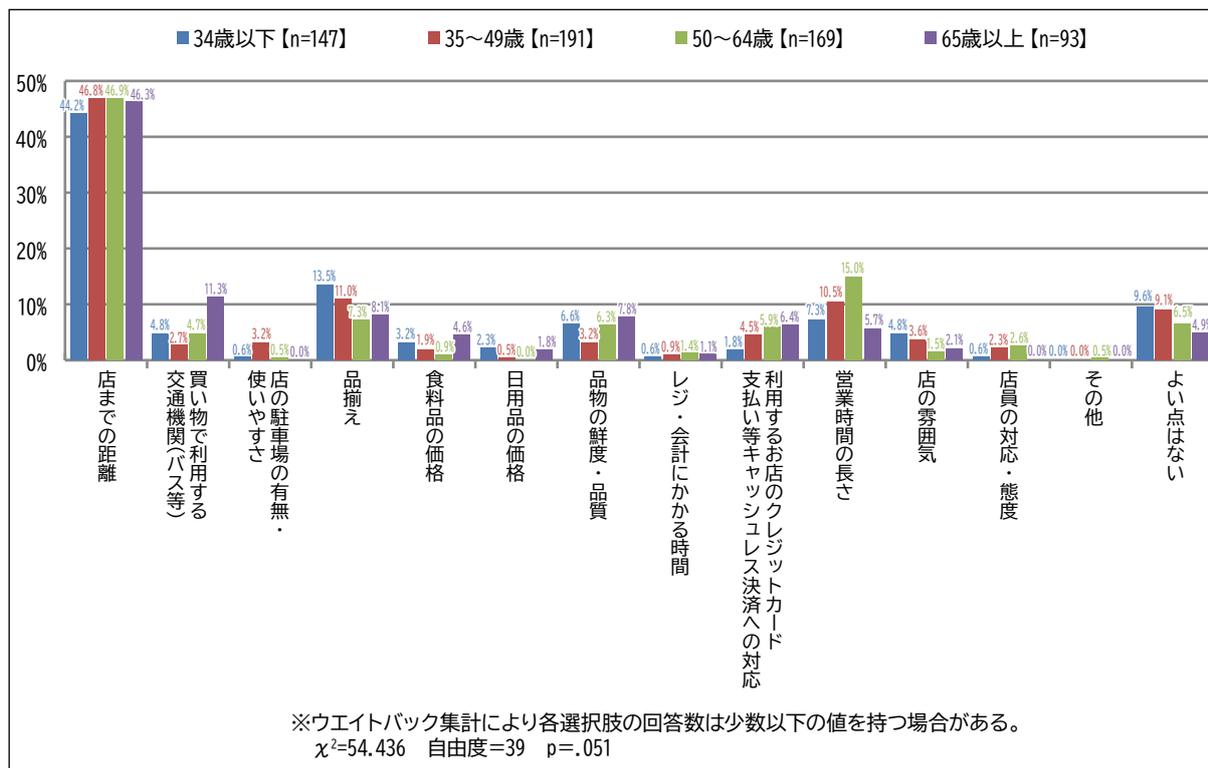
■調査結果

「34歳以下」は、「店までの距離」が44.2%で最も多く、次いで「品揃え」(13.5%)、「よい点はない」(9.6%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「店までの距離」が46.8%で最も多く、次いで「品揃え」(11.0%)、「営業時間の長さ」(10.5%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「店までの距離」が46.9%で最も多く、次いで「営業時間の長さ」(15.0%)、「品揃え」(7.3%)などが多くなっている。

図表2-15-2-1 年齢別買い物環境の最も良い点【参考値】



16 買い物環境の悪い点 (問10 (4))

問10 (4) 食料品、日用品の買い物の環境として悪い点をお答えください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1 店までの距離 | 9 利用するお店のクレジットカード支払い等
キャッシュレス決済への対応 |
| 2 買い物で利用する交通機関(バス等) | 10 営業時間の長さ |
| 3 店の駐車場の有無・使いやすさ | 11 店の雰囲気 |
| 4 品揃え | 12 店員の対応・態度 |
| 5 食料品の価格 | 13 その他 |
| 6 日用品の価格 | 14 悪い点はない |
| 7 品物の鮮度・品質 | |
| 8 レジ・会計にかかる時間 | |

(1) 基本集計結果

6区

港区を除いた5区では「悪い点はない」が1位又は2位となっており、港区の買い物環境への不満が相対的に高いことが分かる。特に「食料品の価格」が1位で、不満が強く表れている。

■調査結果

港区は、「食料品の価格」が40.6%で最も多く、次いで「日用品の価格」(31.4%)、「悪い点はない」(26.7%)などが多くなっている。

図表2-16-1-1 買い物環境の悪い点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1800 ※】
第1位	食料品の価格 40.6%	悪い点はない 31.5%	食料品の価格 40.7%	悪い点はない 48.3%	悪い点はない 49.3%	悪い点はない 43.8%	悪い点はない 38.4%
第2位	日用品の価格 31.4%	食料品の価格 31.1%	悪い点はない 30.6%	食料品の価格 16.7%	レジ・会計に かかる時間 14.7%	食料品の価格 22.3%	食料品の価格 27.3%
第3位	悪い点はない 26.7%	品揃え 26.9%	品揃え 28.0%	レジ・会計に かかる時間 14.0%	食料品の 価格 12.7%	日用品の価格 16.0%	日用品の価格 19.8%
第4位	品揃え 23.1%	日用品の価格 24.4%	日用品の価格 25.8%	品揃え 11.3%	日用品の価格 10.0%	品揃え 12.6%	品揃え 18.5%
第5位	店の駐車場の 有無・使いやす さ 12.8%	店の駐車場の 有無・使いやす さ 13.6%	品物の鮮度・ 品質 12.3%	日用品の価格 11.0%	品揃え 9.0%	レジ・会計に かかる時間 12.2%	レジ・会計に かかる時間 11.0%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別買い物環境の悪い点

港区

35歳以上では「悪い点はない」の回答割合が高く、34歳以下とそれぞれ10ポイント超の差が生じている。

■調査結果

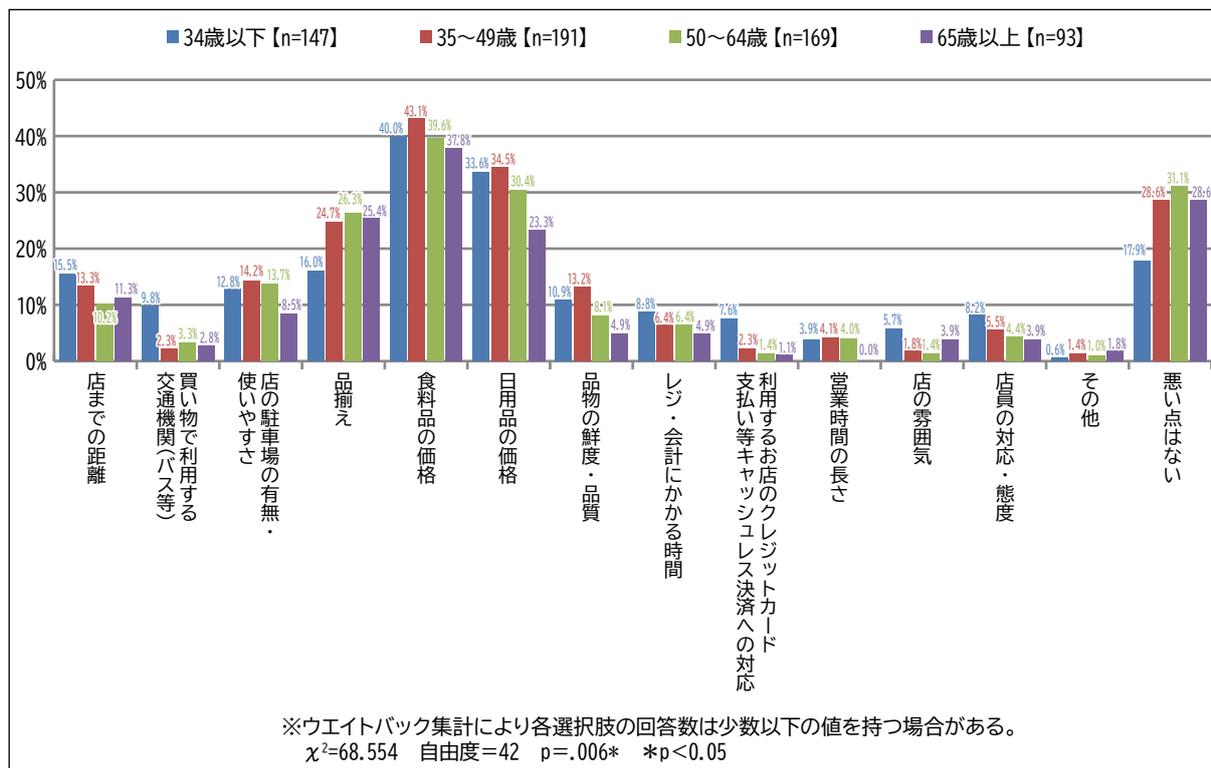
「34歳以下」は、「食料品の価格」が40.0%で最も多く、次いで「日用品の価格」(33.6%)、「悪い点はない」(17.9%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「食料品の価格」が43.1%で最も多く、次いで「日用品の価格」(34.5%)、「悪い点はない」(28.6%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「食料品の価格」が39.6%で最も多く、次いで「悪い点はない」(31.1%)、「日用品の価格」(30.4%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「食料品の価格」が37.8%で最も多く、次いで「悪い点はない」(28.6%)、「品揃え」(25.4%)などが多くなっている。

図表2-16-2-1 年齢別買い物環境の悪い点



イ 職業別買い物環境の悪い点【参考値】

港区

「会社員・団体職員・公務員」では、他の属性と比べて、「食料品の価格」、「日用品の価格」の回答割合が高く、「悪い点はない」の回答割合が低い。

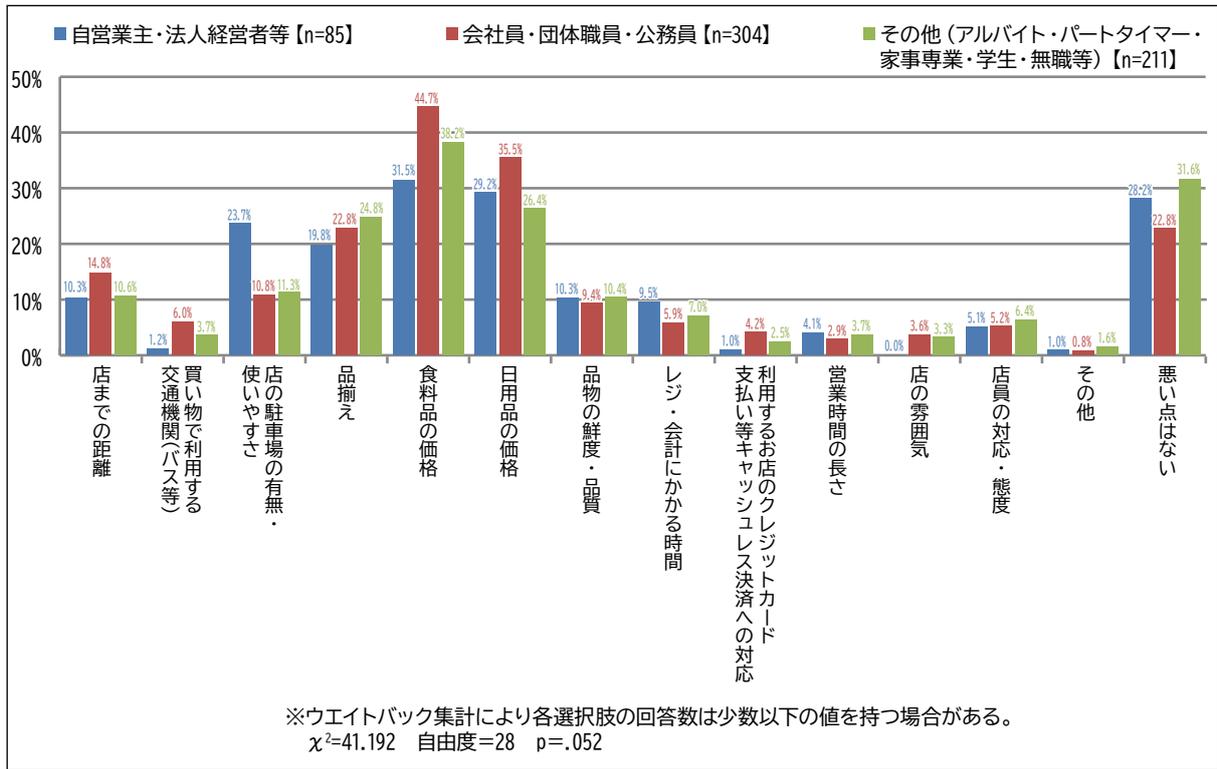
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「食料品の価格」が31.5%で最も多く、次いで「日用品の価格」(29.2%)、「悪い点はない」(28.2%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「食料品の価格」が44.7%で最も多く、次いで「日用品の価格」(35.5%)が続き、「品揃え」(22.8%)、「悪い点はない」(22.8%)が同率3位である。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「食料品の価格」が38.2%で最も多く、次いで「悪い点はない」(31.6%)、「日用品の価格」(26.4%)などが多くなっている。

図表2-16-2-2 職業別買い物環境の悪い点【参考値】



ウ 居住期間別買い物環境の悪い点

港区

居住期間によらず「食料品の価格」、「日用品の価格」の回答割合が高い。また、居住期間が長いほど「食料品の価格」、「悪い点はない」の回答割合が高くなる傾向がある。

■調査結果

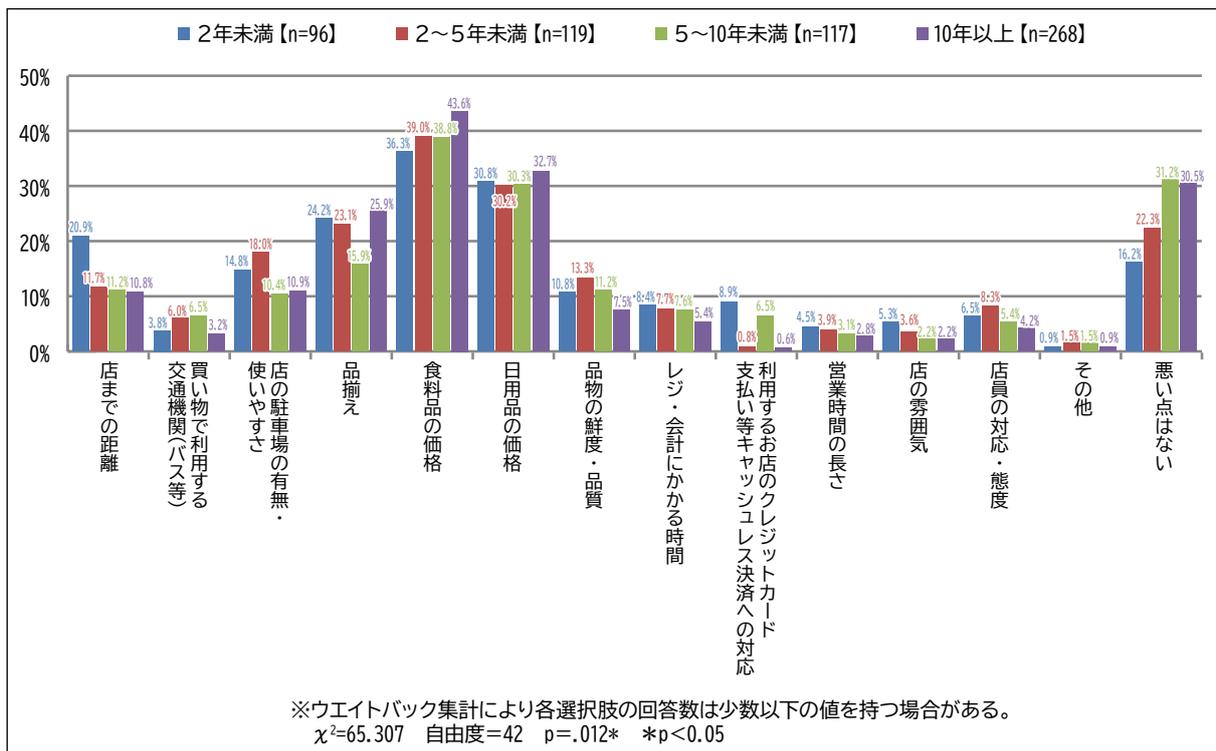
「2年未満」は、「食料品の価格」が36.3%で最も多く、次いで「日用品の価格」(30.8%)、「品揃え」(24.2%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「食料品の価格」が39.0%で最も多く、次いで「日用品の価格」(30.2%)、「品揃え」(23.1%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「食料品の価格」が38.8%で最も多く、次いで「悪い点はない」(31.2%)、「日用品の価格」(30.3%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「食料品の価格」が43.6%で最も多く、次いで「日用品の価格」(32.7%)、「悪い点はない」(30.5%)などが多くなっている。

図表2-16-2-3 居住期間別買い物環境の悪い点



エ 子どもの年齢別買い物環境の悪い点

港区

「子ども13～15歳」の「食料品の価格」への回答割合が突出して高い。「子ども13～15歳」と「子ども16～18歳」の「日用品の価格」への回答割合が突出して高い。

■調査結果

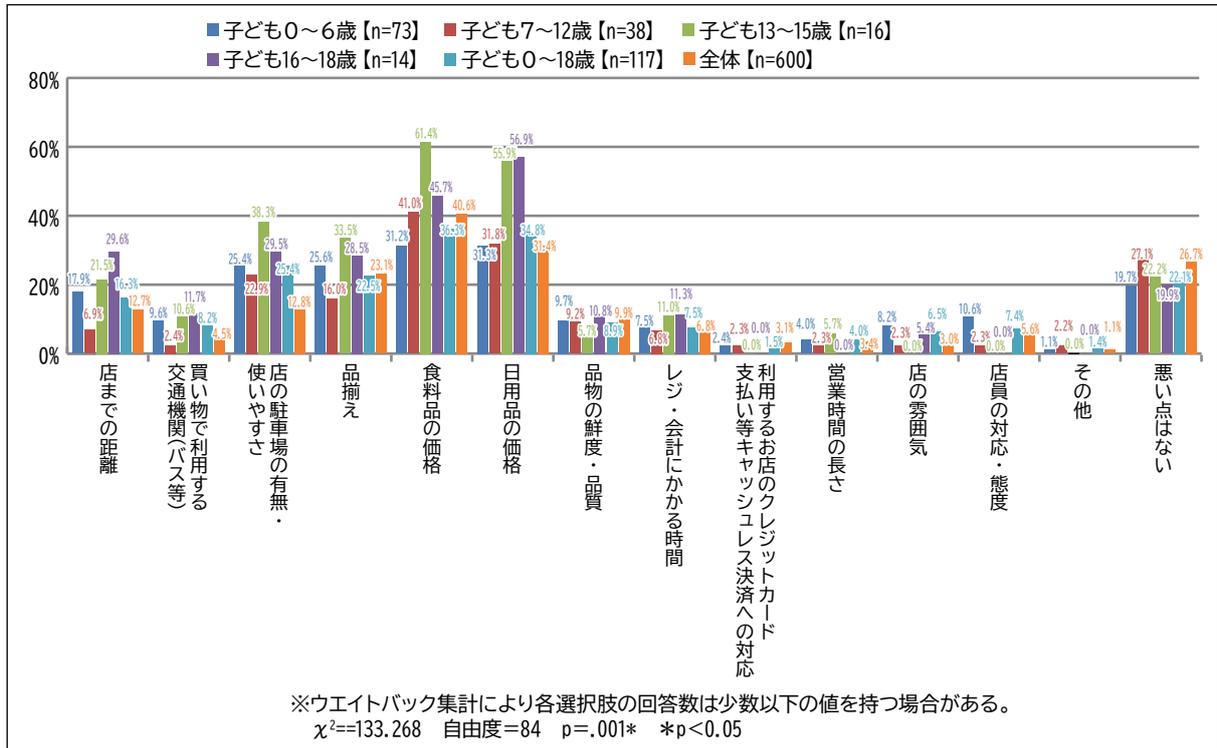
「子ども0～6歳」は、「日用品の価格」が31.3%で最も多く、次いで「食料品の価格」(31.2%)、「品揃え」(25.6%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「食料品の価格」が41.0%で最も多く、次いで「日用品の価格」(31.8%)、「悪い点はない」(27.1%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「食料品の価格」が61.4%で最も多く、次いで「日用品の価格」(55.9%)、「店の駐車場の有無・使いやすさ」(38.3%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「日用品の価格」が56.9%で最も多く、次いで「食料品の価格」(45.7%)、「店までの距離」(29.6%)などが多くなっている。

図表2-16-2-4 子どもの年齢別買い物環境の悪い点



17 買い物環境の最も悪い点 (問10 (5))

問10 (5) 買い物環境として悪い点のうち、最も当てはまるもの

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| 1 店までの距離 | 9 利用するお店のクレジットカード支払い等キャッシュレス決済への対応 |
| 2 買い物で利用する交通機関(バス等) | 10 営業時間の長さ |
| 3 店の駐車場の有無・使いやすさ | 11 店の雰囲気 |
| 4 品揃え | 12 店員の対応・態度 |
| 5 食料品の価格 | 13 その他 |
| 6 日用品の価格 | 14 悪い点はない |
| 7 品物の鮮度・品質 | |
| 8 レジ・会計にかかる時間 | |

(1) 基本集計結果

6区

港区を除いた5区では「悪い点はない」が1位となっているが、港区は「食料品の価格」が1位で、相対的に高く、不満が強く表れている。

■調査結果

港区は、「食料品の価格」が30.3%で最も多く、次いで「悪い点はない」(26.7%)、「品揃え」(10.5%)などが多くなっている。

図表2-17-1-1 買い物環境の最も悪い点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1800 ※】
第1位	食料品の価格 30.3%	悪い点はない 31.5%	悪い点はない 30.6%	悪い点はない 48.3%	悪い点はない 49.3%	悪い点はない 43.8%	悪い点はない 38.4%
第2位	悪い点はない 26.7%	食料品の価格 21.5%	食料品の価格 25.8%	食料品の価格 13.7%	レジ・会計に かかる時間 10.3%	食料品の価格 14.9%	食料品の価格 19.0%
第3位	品揃え 10.5%	品揃え 14.3%	品揃え 15.2%	品揃え 8.0%	店までの距離 7.7%	品揃え 7.9%	品揃え 10.0%
第4位	店までの距離 8.2%	店までの距離 7.2%	レジ・会計に かかる時間 5.2%	レジ・会計に かかる時間 7.3%	食料品の価格 7.7%	店の駐車場の 有無・使いやすさ 6.8%	店までの距離 6.1%
第5位	店の駐車場の 有無・使いやすさ 5.0%	店の駐車場の 有無・使いやすさ 6.4%	店までの距離 4.3%	店までの距離 ／利用するお 店のクレジット カード支払い等 キャッシュレス 決済への対応 3.7%	店の駐車場の 有無・使いやすさ 6.7%	レジ・会計に かかる時間 6%	レジ・会計に かかる時間 6.0%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 居住期間別買い物環境の最も悪い点

港区

居住期間によらず「食料品の価格」の回答割合が高い。居住期間が長いほど「悪い点はない」の回答割合が高くなる傾向がある。

■調査結果

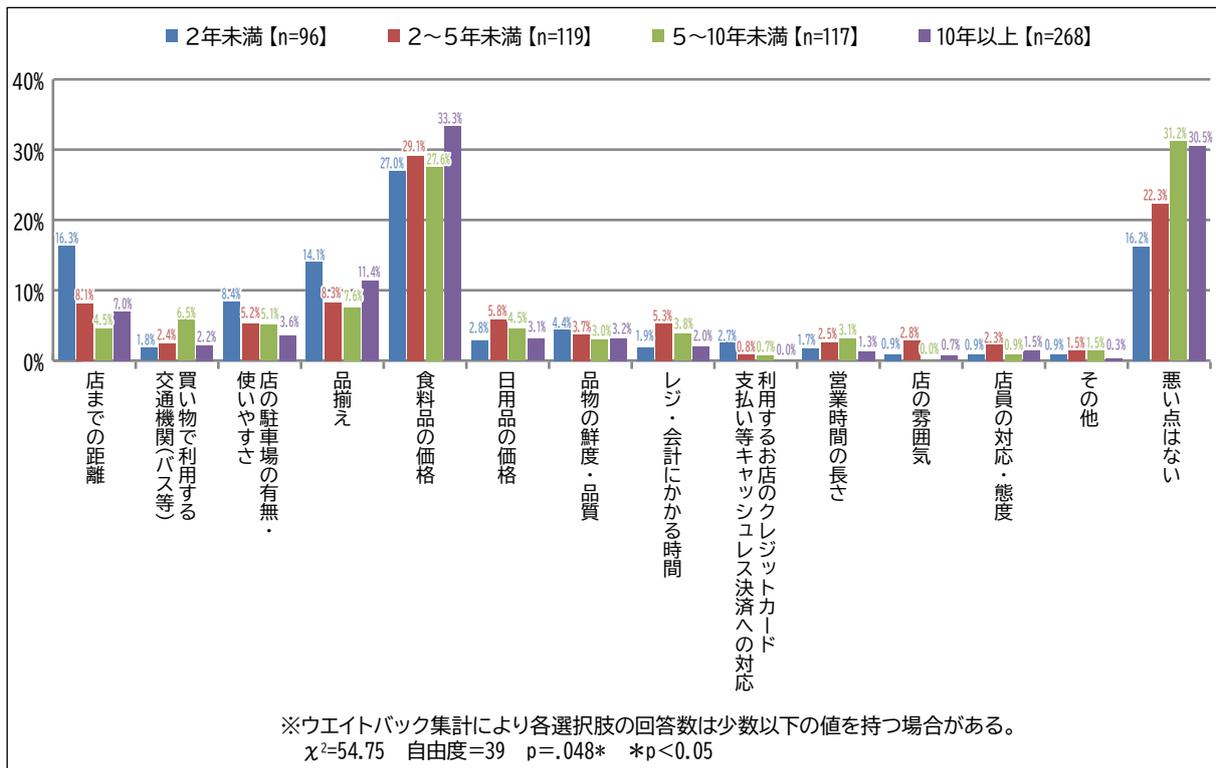
「2年未満」は、「食料品の価格」が27.0%で最も多く、次いで「店までの距離」(16.3%)、「悪い点はない」(16.2%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「食料品の価格」が29.1%で最も多く、次いで「悪い点はない」(22.3%)、「品揃え」(8.3%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「悪い点はない」が31.2%で最も多く、次いで「食料品の価格」(27.6%)、「品揃え」(7.6%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「食料品の価格」が33.3%で最も多く、次いで「悪い点はない」(30.5%)、「品揃え」(11.4%)などが多くなっている。

図表2-17-2-1 居住期間別買い物環境の最も悪い点



イ 子どもの年齢別買い物環境の最も悪い点

港区

「子ども13～15歳」の「食料品の価格」への回答割合が突出して高い。

■調査結果

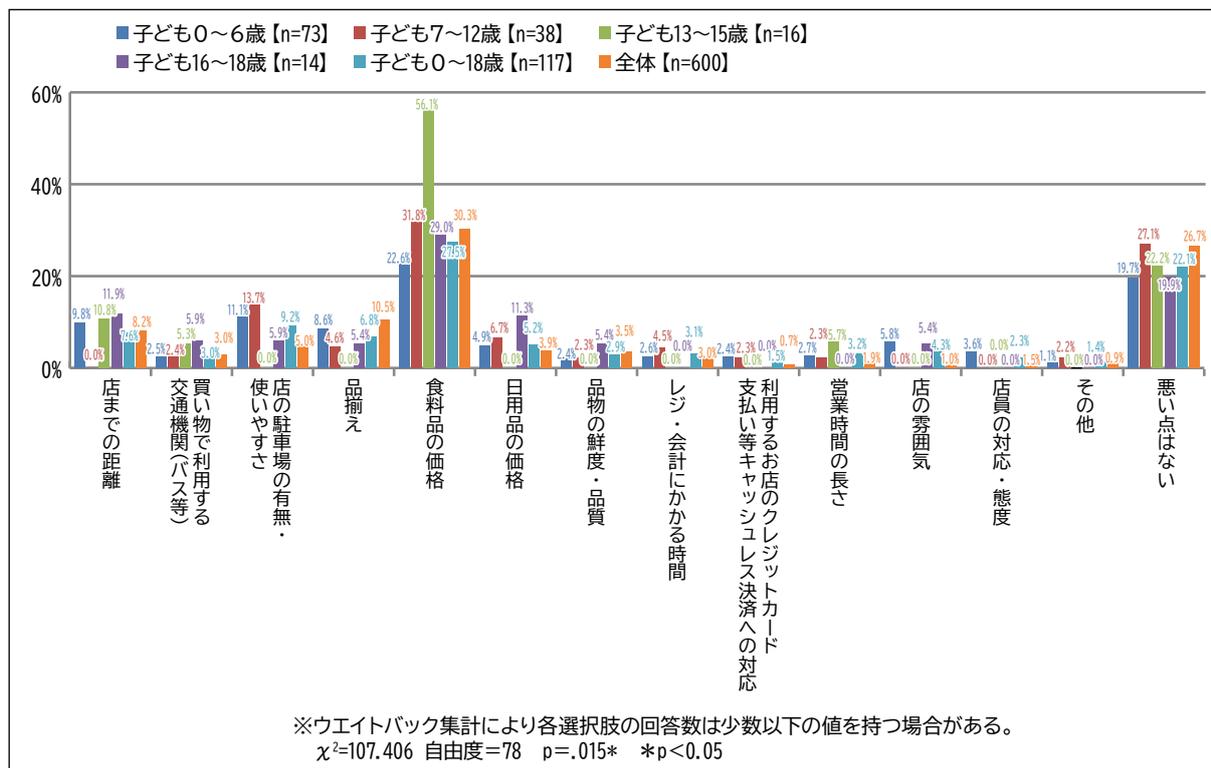
「子ども0～6歳」は、「食料品の価格」が22.6%で最も多く、次いで「悪い点はない」(19.7%)、「店の駐車場の有無・使いやすさ」(11.1%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「食料品の価格」が31.8%で最も多く、次いで「悪い点はない」(27.1%)、「店の駐車場の有無・使いやすさ」(13.7%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「食料品の価格」が56.1%で最も多く、次いで「悪い点はない」(22.2%)、「店までの距離」(10.8%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「食料品の価格」が29%で最も多く、次いで「悪い点はない」(19.9%)、「店までの距離」(11.9%)などが多くなっている。

図表2-17-2-2 子どもの年齢別買い物環境の最も悪い点



18 食料品・日用品をよく購入する店への所要時間（問11）

問11 食料品、日用品の買い物で最もよく利用するお店までの徒歩での片道の所要時間をお答えください。

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| 1 5分未満 | 2 5分以上10分未満 | 3 10分以上15分未満 |
| 4 15分以上20分未満 | 5 20分以上30分未満 | 6 30分以上 |
| 7 徒歩で行ける範囲にはない | | |

(1) 基本集計結果

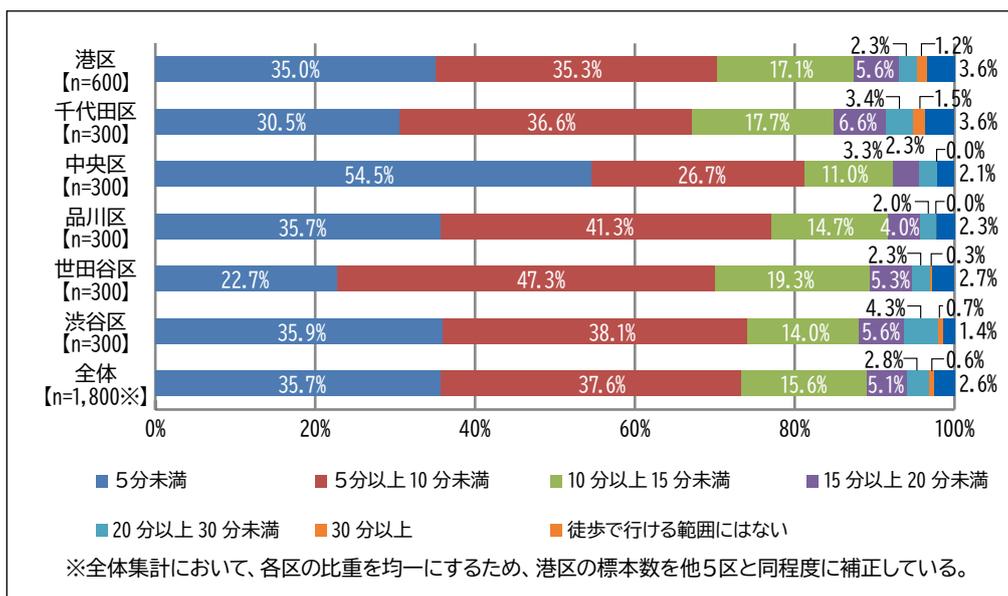
6区

いずれの区でも15分未満が8割を超えている。最も短い「5分未満」では、中央区が突出して高く、港区は中位程度となっている。

■調査結果

港区は、「5分以上10分未満」が35.3%で最も多く、次いで「5分未満」(35.0%)、「10分以上15分未満」(17.1%)などが多くなっている。

図表2-18-1-1 食料品・日用品をよく購入する店への所要時間



(2) クロス集計結果

ア 世帯の人数別食料品・日用品をよく購入する店への所要時間

港区

家族の人数が少ないほど店への所要時間が短い傾向がある。

■調査結果

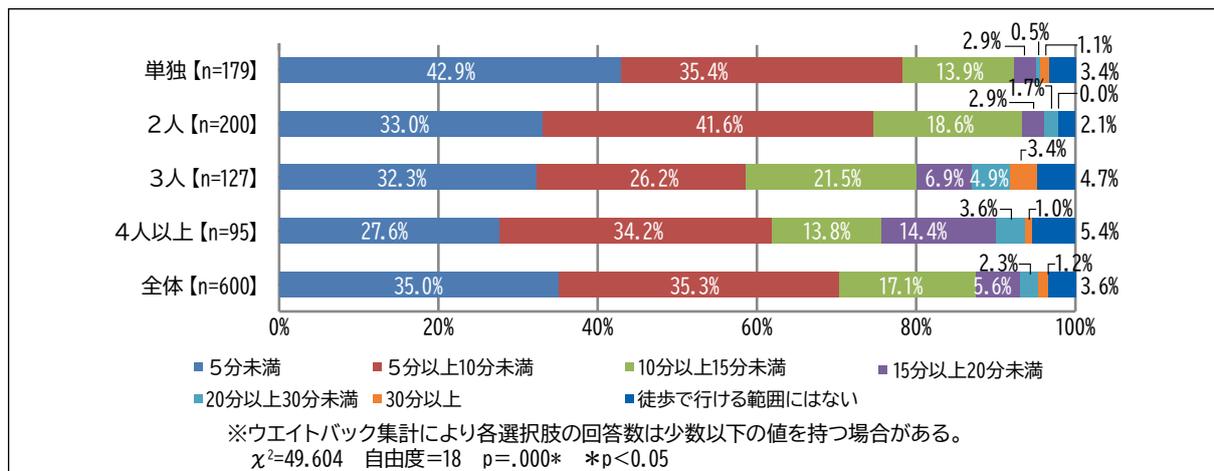
「単独」は、「5分未満」が42.9%で最も多く、次いで「5分以上10分未満」(35.4%)、「10分以上15分未満」(13.9%)などが多くなっている。

「2人」は、「5分以上10分未満」が41.6%で最も多く、次いで「5分未満」(33%)、「10分以上15分未満」(18.6%)などが多くなっている。

「3人」は、「5分未満」が32.3%で最も多く、次いで「5分以上10分未満」(26.2%)、「10分以上15分未満」(21.5%)などが多くなっている。

「4人以上」は、「5分以上10分未満」が34.2%で最も多く、次いで「5分未満」(27.6%)、「15分以上20分未満」(14.4%)などが多くなっている。

図表2-18-2-1 世帯の人数別食料品・日用品をよく購入する店への所要時間



イ 買い物環境への評価別食料品・日用品をよく購入する店への所要時間

港区

買い物環境への評価が高いほど店への所要時間が短い傾向がある。

■調査結果

「よい」は、「5分未満」が46.8%で最も多く、次いで「5分以上10分未満」(29.0%)、「10分以上15分未満」(14.6%)などが多くなっている。

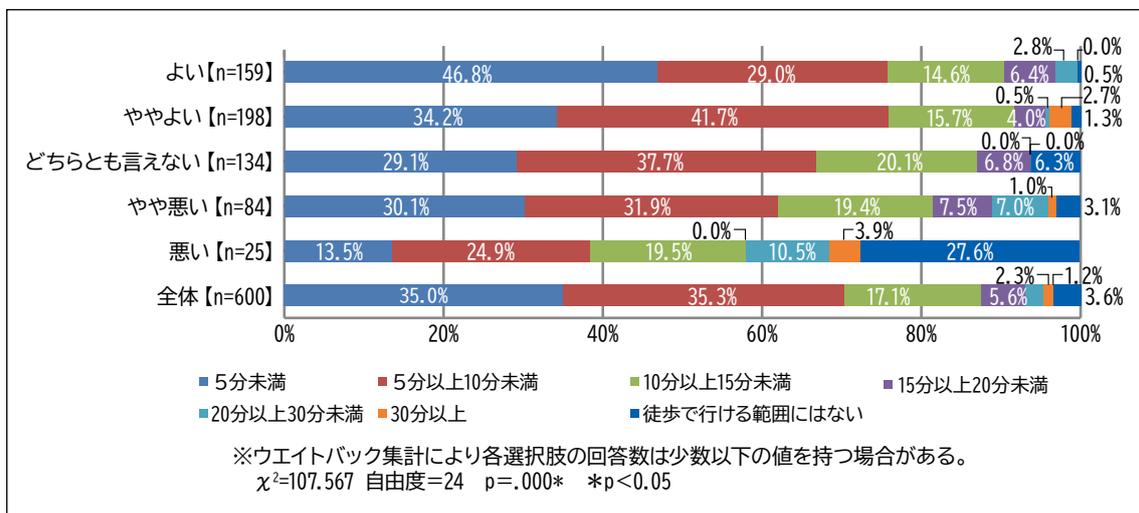
「ややよい」は、「5分以上10分未満」が41.7%で最も多く、次いで「5分未満」(34.2%)、「10分以上15分未満」(15.7%)などが多くなっている。

「どちらとも言えない」は、「5分以上10分未満」が37.7%で最も多く、次いで「5分未満」(29.1%)、「10分以上15分未満」(20.1%)などが多くなっている。

「やや悪い」は、「5分以上10分未満」が31.9%で最も多く、次いで「5分未満」(30.1%)、「10分以上15分未満」(19.4%)などが多くなっている。

「悪い」は、「徒歩で行ける範囲にはない」が27.6%で最も多く、次いで「5分以上10分未満」(24.9%)、「10分以上15分未満」(19.5%)などが多くなっている。

図表2-18-2-2 買い物環境への評価別食料品・日用品をよく購入する店への所要時間



19 食料品・日用品をよく購入する店の所在地（問12（1））

問12（1） 食料品、日用品の買い物で最もよく利用するお店の所在地をお答えください。

1 千代田区	9 品川区	17 北区	25 千葉県
2 中央区	10 目黒区	18 荒川区	26 埼玉県
3 港区	11 大田区	19 板橋区	27 神奈川県
4 新宿区	12 世田谷区	20 練馬区	28 その他
5 文京区	13 渋谷区	21 足立区	29 わからない
6 台東区	14 中野区	22 葛飾区	
7 墨田区	15 杉並区	23 江戸川区	
8 江東区	16 豊島区	24 23区以外の都内	

（1）基本集計結果

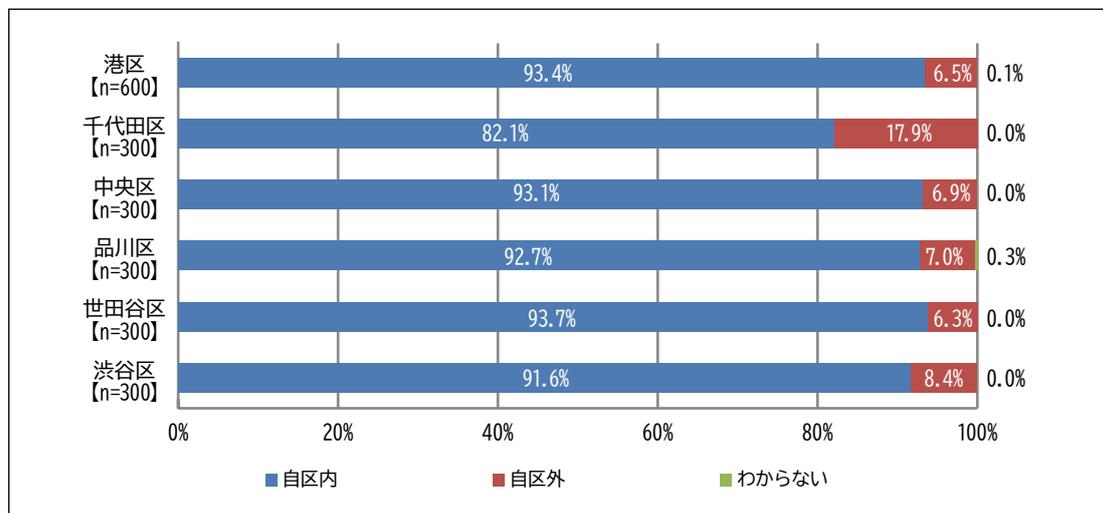
6区

いずれの区でも自区内で買い物をしている割合が大半を占める。千代田区は自区外で購入する割合が17.9%で相対的に高い。

■調査結果

港区は、「自区内」が93.4%で最も多く、次いで「自区外」(6.5%)、「わからない」(0.1%)が多くなっている。

図表2-19-1-1 食料品・日用品をよく購入する店の所在地



（2）クロス集計結果

ア 買い物環境への評価別食料品・日用品をよく購入する店の所在地【参考値】

港区

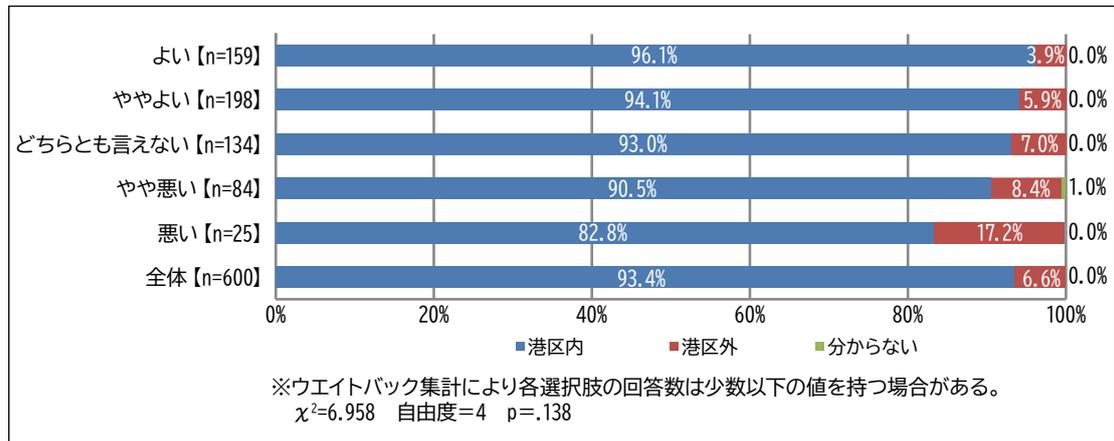
買い物環境への評価が低いほど区外で買い物をしている傾向がある。

■調査結果

「よい」は、「港区内」が96.1%、「港区外」が3.9%である。

「ややよい」は、「港区内」が94.1%、「港区外」が5.9%である。
「どちらとも言えない」は、「港区内」が93.0%、「港区外」が7.0%である。
「やや悪い」は、「港区内」が90.5%、「港区外」が9.5%である。
「悪い」は、「港区内」が82.8%、「港区外」が17.2%である

図表2-19-2-1 買い物環境への評価別食料品・日用品をよく購入する店の所在地【参考値】



20 嗜好品・耐久消費財をよく購入する店の所在地（問12（2））

問12（2） 趣味のものや耐久消費財（家具、家電等）の買い物で最もよく利用するお店の所在地をお答えください。

1 千代田区	9 品川区	17 北区	25 千葉県
2 中央区	10 目黒区	18 荒川区	26 埼玉県
3 港区	11 大田区	19 板橋区	27 神奈川県
4 新宿区	12 世田谷区	20 練馬区	28 その他
5 文京区	13 渋谷区	21 足立区	29 わからない
6 台東区	14 中野区	22 葛飾区	
7 墨田区	15 杉並区	23 江戸川区	
8 江東区	16 豊島区	24 23区以外の都内	

（1）基本集計結果

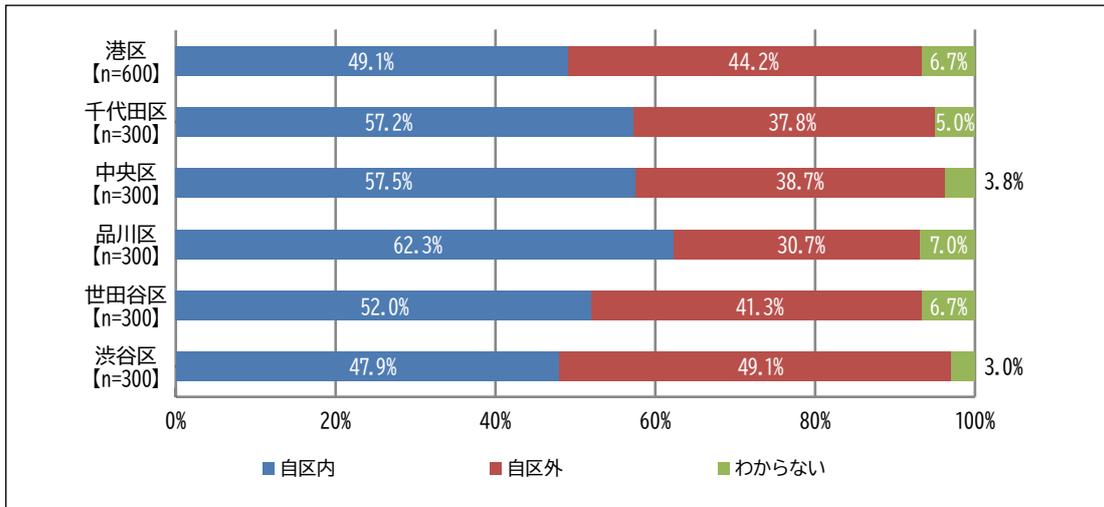
6区

いずれの区でも食料品・日用品と比較すると自区外で購入する割合が高く、港区はその割合が6区中で2番目に高い。

■調査結果

港区は、「自区内」が49.1%で最も多く、次いで「自区外」(44.2%)、「わからない」(6.7%)が多くなっている。

図表2-20-1-1 嗜好品・耐久消費財をよく購入する店の所在地



(2) クロス集計結果

ア 居住期間別嗜好品・耐久消費財をよく購入する店の所在地

港区

居住期間によらず「港区内」の回答割合が半数程度を占めるが、「10年以上」は44.1%で相対的に低い。

■調査結果

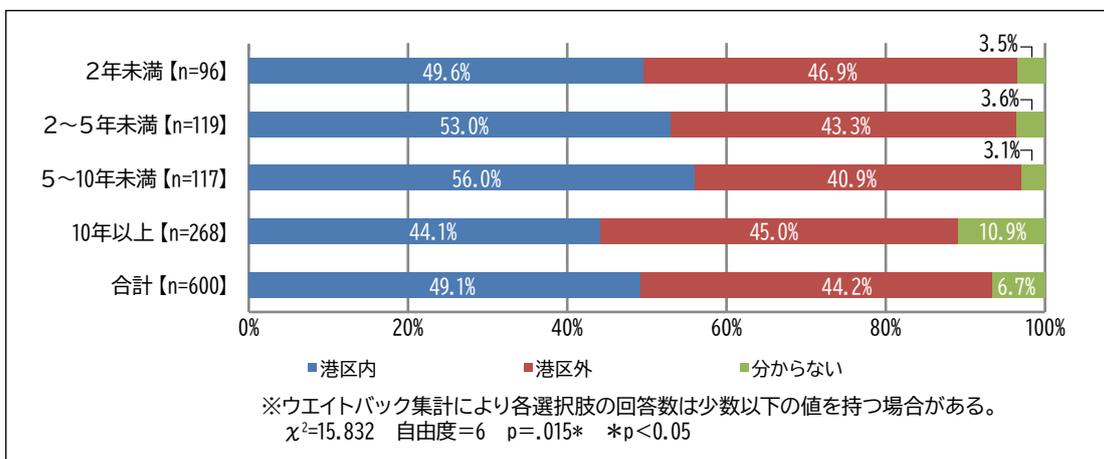
「2年未満」は、「港区内」が49.6%で最も多く、次いで「港区外」(46.9%)、「分からない」(3.5%)が多くなっている。

「2～5年未満」は、「港区内」が53.0%で最も多く、次いで「港区外」(43.3%)、「分からない」(3.6%)が多くなっている。

「5～10年未満」は、「港区内」が56.0%で最も多く、次いで「港区外」(40.9%)、「分からない」(3.1%)が多くなっている。

「10年以上」は、「港区外」が45.0%で最も多く、次いで「港区内」(44.1%)、「分からない」(10.9%)が多くなっている。

図表2-20-2-1 居住期間別嗜好品・耐久消費財をよく購入する店の所在地



21 買い物利便性向上に有効なサービス（問13）

問13 普段の買い物の利便性を向上させるサービスとして有効であると感じるものをお答えください。

- 1 総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大
- 2 日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大
- 3 キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大
- 4 特定の品目が充実した新たな販売所の設置（鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など）
- 5 わからない
- 6 その他

(1) 基本集計結果

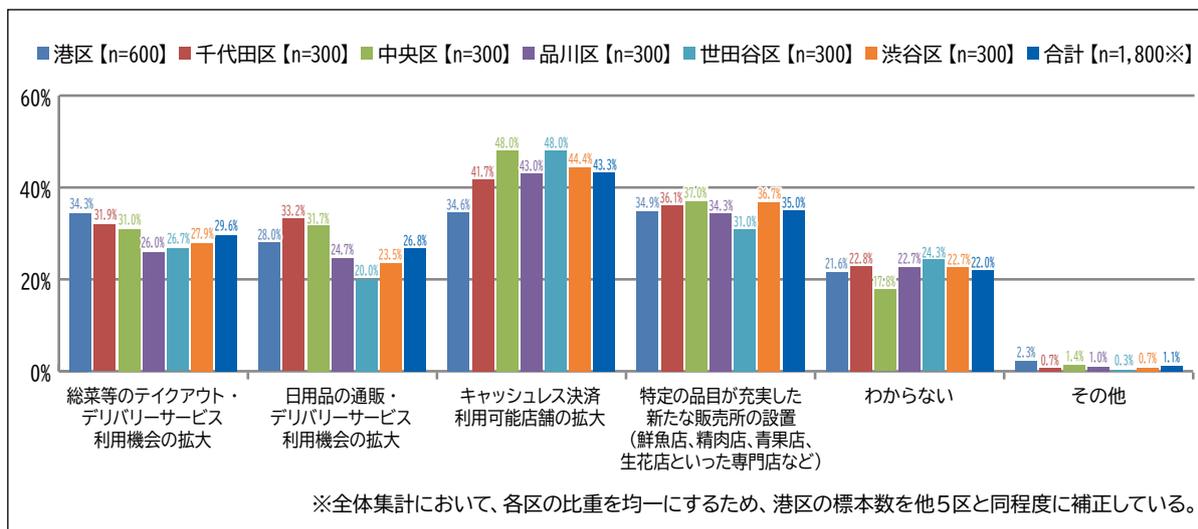
6区

「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」は港区が最も高く、相対的に高いニーズとなっている。

■調査結果

港区は、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置（鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など）」が34.9%で最も多く、次いで「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」（34.6%）、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」（34.3%）などが多くなっている。

図表2-21-1-1 買い物利便性向上に有効なサービス



(2) クロス集計結果

ア 年齢別買い物利便性向上に有効なサービス

港区

年齢が低いほどデリバリーサービス利用機会の拡大が高く、年齢が高いほど「特定の品目が充実した新たな販売所の設置」が高い。

■調査結果

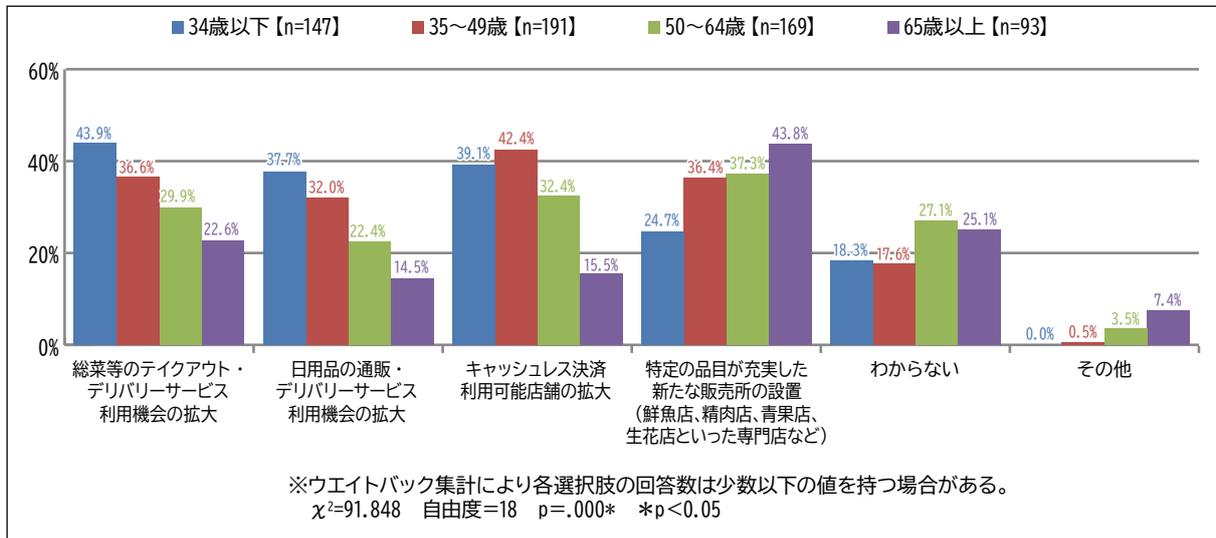
「34歳以下」は、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」が43.9%で最も多く、次いで「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」(39.1%)、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」(37.7%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」が42.4%で最も多く、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(36.6%)、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」(36.4%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」が37.3%で最も多く、次いで「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」(32.4%)、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(29.9%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」が43.8%で最も多く、次いで「わからない」(25.1%)、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(22.6%)などが多くなっている。

図表2-21-2-1 年齢別買い物利便性向上に有効なサービス



イ 職業別買い物利便性向上に有効なサービス

港区

「会社員・団体職員・公務員」で「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」が高く、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置」はいずれの職業でも同程度である。

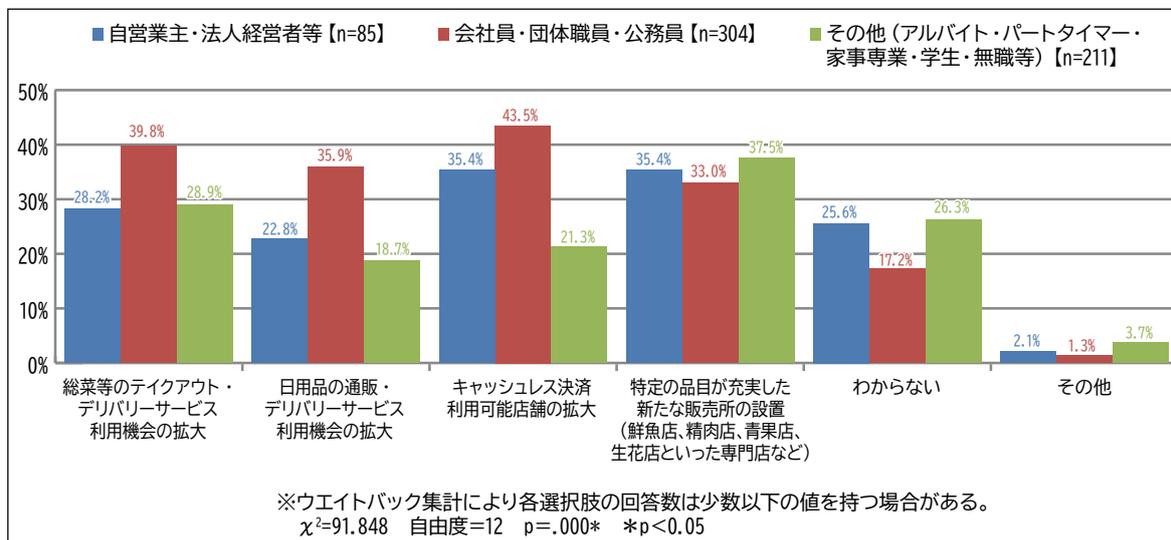
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」(35.4%)、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」(35.4%)が同率1位であり、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(28.2%)が多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」が43.5%で最も多く、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(39.8%)、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」(35.9%)などが多くなっている。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」が37.5%で最も多く、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(28.9%)、「わからない」(26.3%)などが多くなっている。

図表2-21-2-2 職業別買い物利便性向上に有効なサービス



居住年数が短いほど「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」の回答割合が高く、居住年数が高いほど「特定の品目が充実した新たな販売所の設置」の回答割合が高い傾向がある。

■調査結果

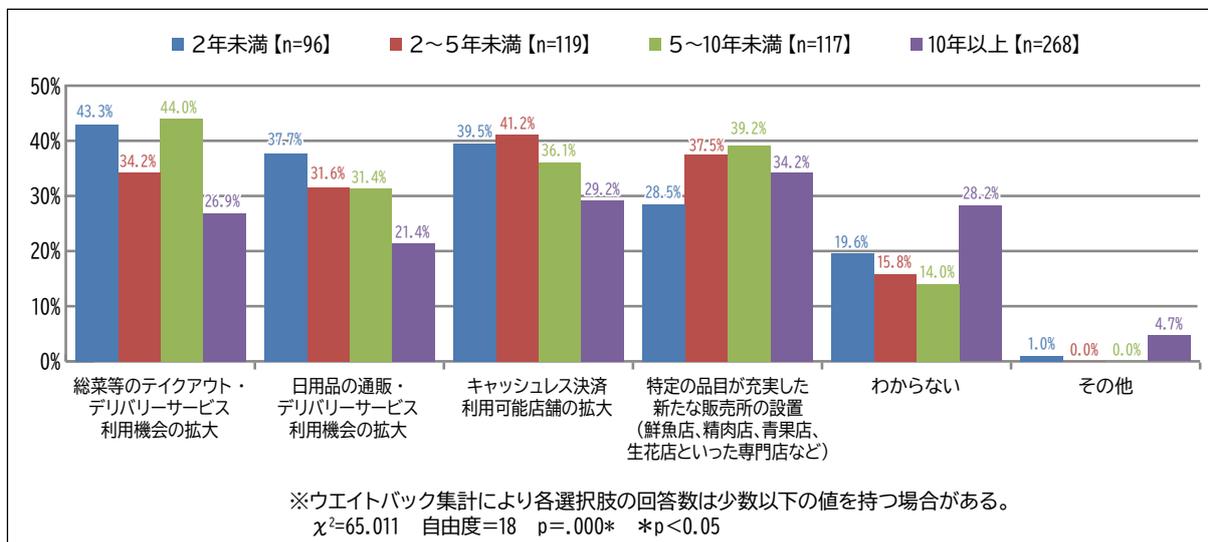
「2年未満」は、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」が43.3%で最も多く、次いで「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」(39.5%)、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」(37.7%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」が41.2%で最も多く、次いで「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」(37.5%)、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(34.2%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」が44.0%で最も多く、次いで「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」(39.2%)、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」(36.1%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」が34.2%で最も多く、次いで「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」(29.2%)、「わからない」(28.2%)などが多くなっている。

図表2-21-2-3 居住年数別買い物利便性向上に有効なサービス



エ 子どもの年齢別買い物利便性向上に有効なサービス

港区

「子ども0～6歳」と「子ども7～12歳」では「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」の回答割合が高い。

■調査結果

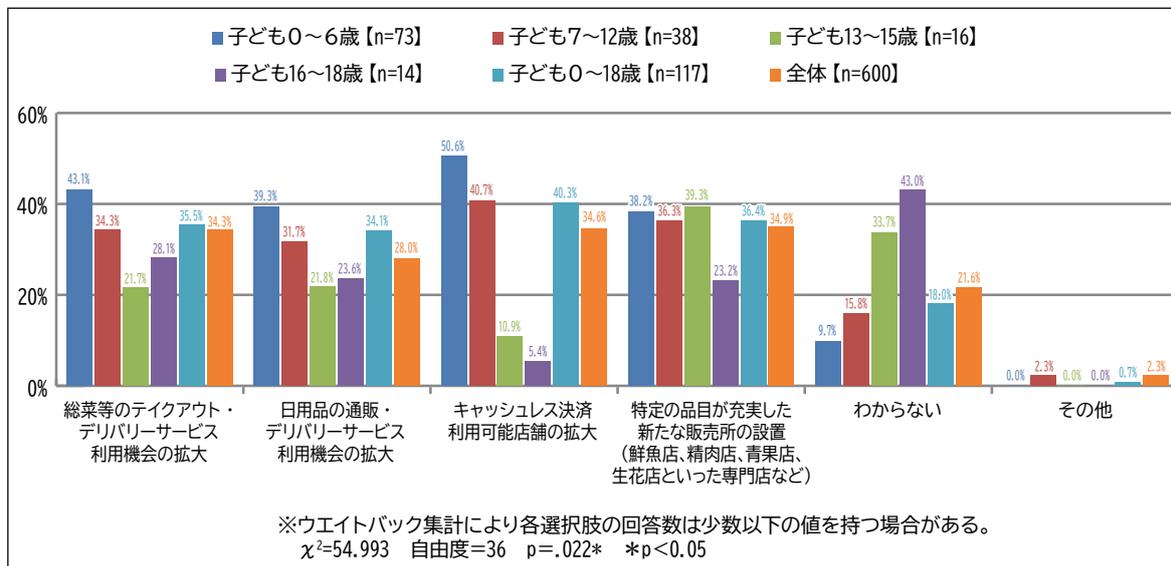
「子ども0～6歳」は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」が50.6%で最も多く、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(43.1%)、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」(39.3%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」が40.7%で最も多く、次いで「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」(36.3%)、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(34.3%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」が39.3%で最も多く、次いで「わからない」(33.7%)、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」(21.8%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「わからない」が43%で最も多く、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(28.1%)、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」(23.6%)などが多くなっている。

図表2-21-2-4 子どもの年齢別買い物利便性向上に有効なサービス



オ 買い物環境への評価別買い物利便性向上に有効なサービス

「よい」や「ややよい」などの肯定的な評価をしている者は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」の回答割合が高い。

■調査結果

「よい」は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」が38.9%で最も多く、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(37.8%)、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」(30.5%)などが多くなっている。

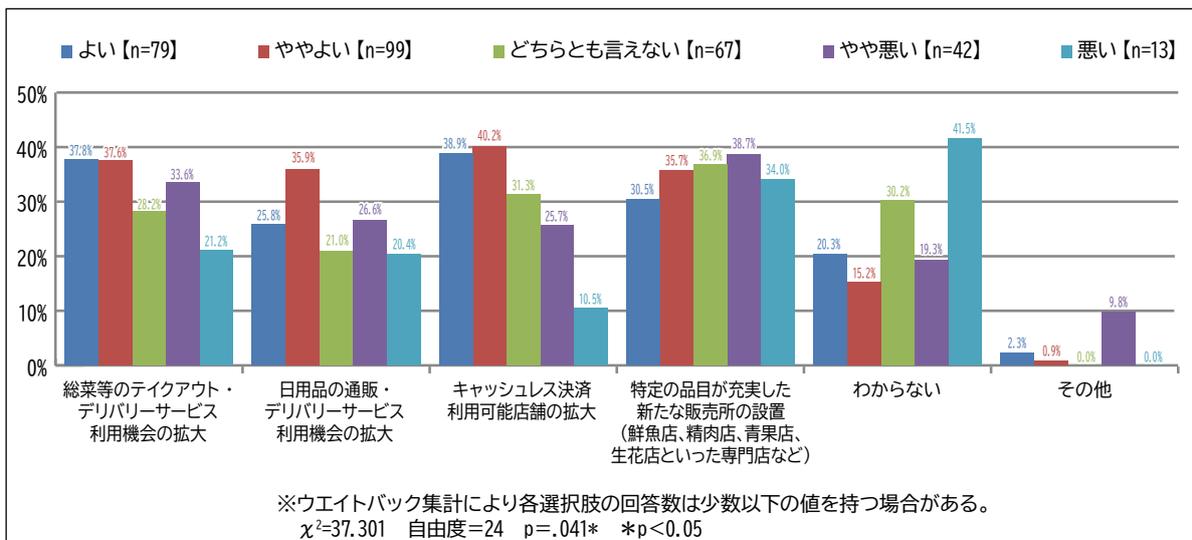
「ややよい」は、「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」が40.2%で最も多く、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(37.6%)、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」(35.9%)などが多くなっている。

「どちらとも言えない」は、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」が36.9%で最も多く、次いで「キャッシュレス決済利用可能店舗の拡大」(31.3%)、「わからない」(30.2%)などが多くなっている。

「やや悪い」は、「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」が38.7%で最も多く、次いで「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(33.6%)、「日用品の通販・デリバリーサービス利用機会の拡大」(26.6%)などが多くなっている。

「悪い」は、「わからない」が41.5%で最も多く、次いで「特定の品目が充実した新たな販売所の設置(鮮魚店、精肉店、青果店、生花店といった専門店など)」(34%)、「総菜等のテイクアウト・デリバリーサービス利用機会の拡大」(21.2%)などが多くなっている。

図表2-21-2-5 買い物環境への評価別買い物利便性向上に有効なサービス



22 子育て・教育環境への評価（問14（1））

問14（1） あなたがお住まいの区における教育・子育て環境に関する評価をお答えください。

1 よい 2 ややよい 3 どちらとも言えない 4 やや悪い 5 悪い

（1）基本集計結果

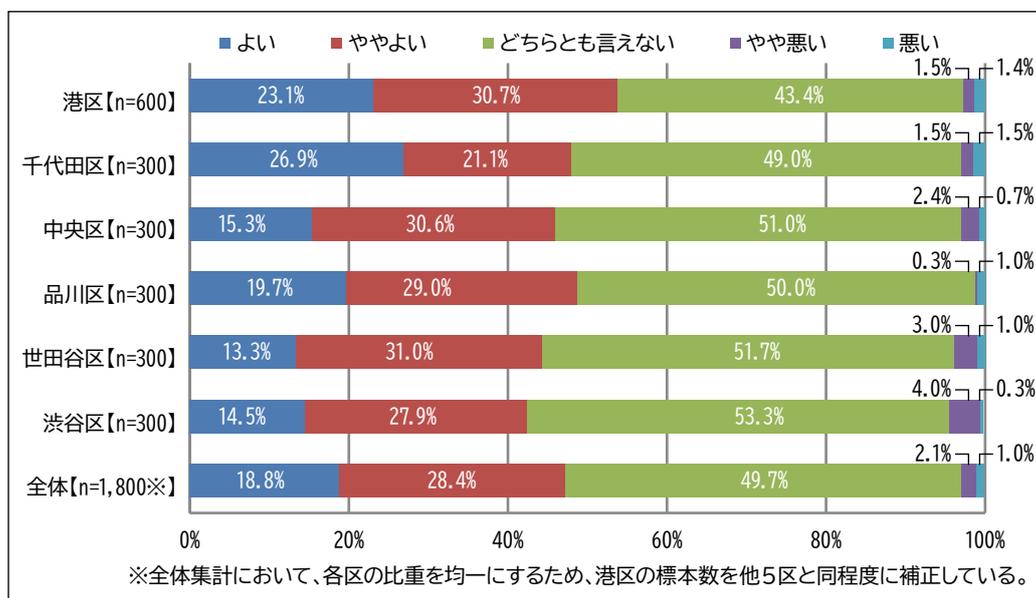
6区

「よい」と「ややよい」の合計について、港区は53.8%で、6区中最も高い。

■調査結果

港区は、「どちらとも言えない」が43.4%で最も多く、次いで「ややよい」（30.7%）、「よい」（23.1%）などが多くなっている。

図表2-22-1-1 子育て・教育環境への評価



（2）クロス集計結果

ア 年齢別子育て・教育環境への評価

港区

「34歳以下」と「65歳以上」で「よい」、「ややよい」の合計の割合が高い。

■調査結果

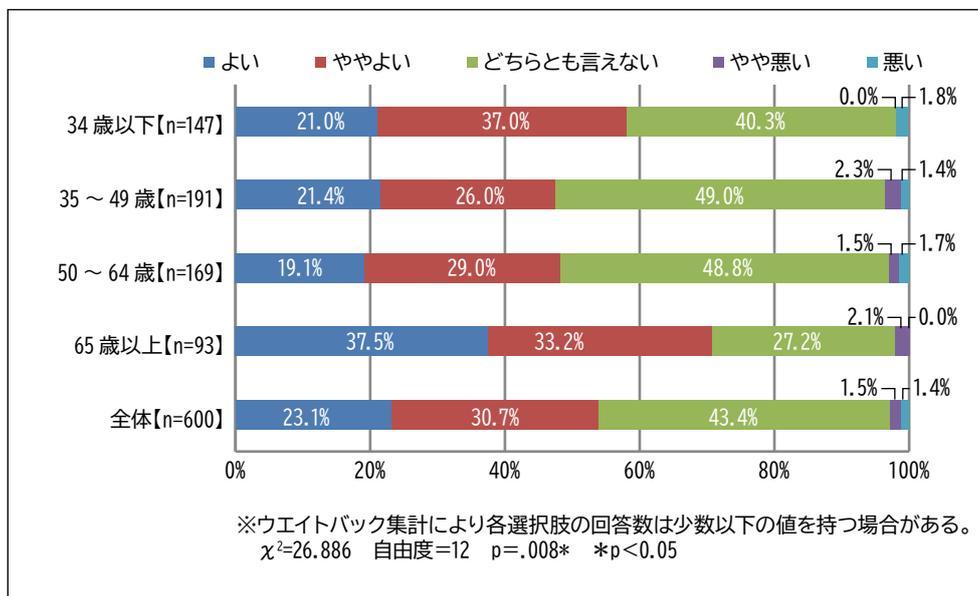
「34歳以下」は、「どちらとも言えない」が40.3%で最も多く、次いで「ややよい」（37.0%）、「よい」（21.0%）などが多くなっている。

「35～49歳」は、「どちらとも言えない」が49.0%で最も多く、次いで「ややよい」（26.0%）、「よい」（21.4%）などが多くなっている。

「50～64歳」は、「どちらとも言えない」が48.8%で最も多く、次いで「ややよい」（29.0%）、「よい」（19.1%）などが多くなっている。

「65歳以上」は、「よい」が37.5%で最も多く、次いで「ややよい」(33.2%)、「どちらとも言えない」(27.2%)などが多くなっている。

図表2-22-2-1 年齢別子育て・教育環境への評価



イ 子どもの年齢別子育て・教育環境への評価

港区

「子ども0～6歳」と「子ども7～12歳」で「よい」と「ややよい」の回答割合が高い。

■調査結果

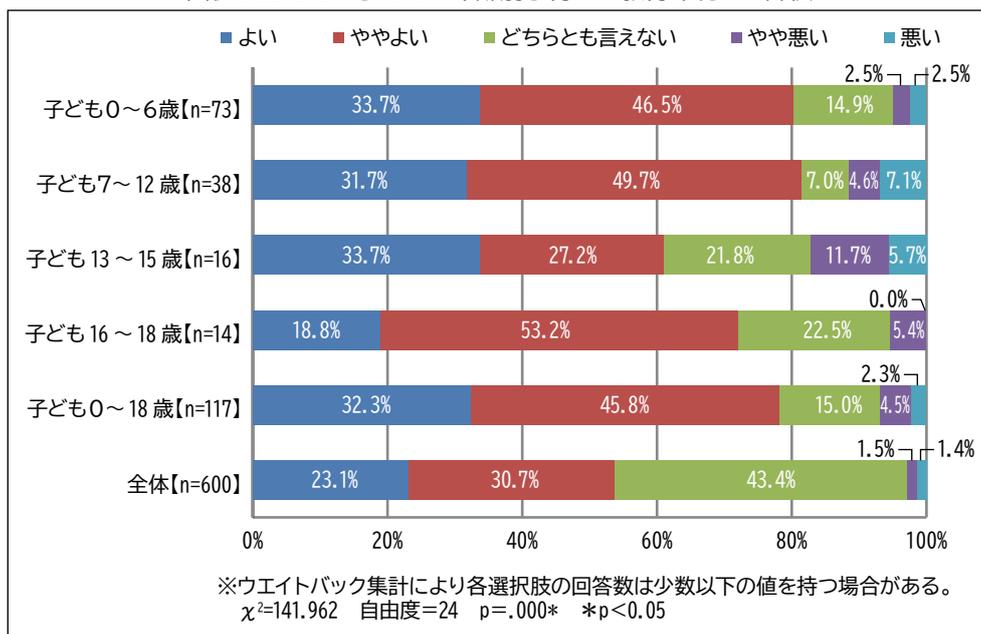
「子ども0～6歳」は、「ややよい」が46.5%で最も多く、次いで「よい」(33.7%)、「どちらとも言えない」(14.9%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「ややよい」が49.7%で最も多く、次いで「よい」(31.7%)、「悪い」(7.1%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「よい」が33.7%で最も多く、次いで「ややよい」(27.2%)、「どちらとも言えない」(21.8%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「ややよい」が53.2%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(22.5%)、「よい」(18.8%)などが多くなっている。

図表2-22-2-2 子どもの年齢別子育て・教育環境への評価



ウ 子育て・教育環境への評価（子どもの年齢0～18歳未満回答における比較）

6区

港区の「よい」と「ややよい」を合計した回答割合は、78.1%で6区中最も高い。

■調査結果

「港区」は、「ややよい」が45.8%で最も多く、次いで「よい」（32.3%）、「どちらとも言えない」（15%）などが多くなっている。

「千代田区」は、「ややよい」が38.8%で最も多く、次いで「よい」（34.3%）、「どちらとも言えない」（25.5%）などが多くなっている。

「中央区」は、「ややよい」が44.6%で最も多く、次いで「よい」（30.3%）、「どちらとも言えない」（21.9%）などが多くなっている。

「品川区」は、「ややよい」が46.3%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」（31.7%）、「よい」（22%）などが多くなっている。

「世田谷区」は、「ややよい」が38.5%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」（30.8%）、「よい」（17.9%）などが多くなっている。

「渋谷区」は、「ややよい」が47.1%で最も多く、次いで「よい」（23.2%）、「どちらとも言えない」（23.2%）などが多くなっている。